

アメリカ・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・イギリス・スイス

高校留学プログラム

High School Study Abroad Programs

JAAAC



JAAC

日米学術センター
Japan-America Academic Center

JAAC高校留学制度

- JAAC高校留学制度の特徴…………… (5)
- JAAC特別奨学金制度…………… (10)

アメリカ私立高校留学

- アメリカ私立高校留学とは…………… (12)
- 受入校概要…………… (13)
- 参加生の声…………… (20)
- 現地指導・支援サポート…………… (21)

カナダ留学

- カナダの教育制度について…………… (23)
- 受入学区概要
 - ビクトリア学区…………… (25)
 - カウチャンバレー学区…………… (26)
 - バーノン学区…………… (27)
 - ケロウナ学区…………… (28)
 - パウエルリバー学区…………… (29)
 - スーク学区…………… (30)
 - 現地指導・支援サポート…………… (31)
 - トロント学区…………… (32)
 - ヨーク・リージョン学区…………… (33)
 - 現地指導・支援サポート…………… (34)
 - ノバスコシア州…………… (35)
- 参加生の声…………… (36)
- 現地指導・支援サポート…………… (37)

オーストラリア留学

- 南オーストラリアについて…………… (39)
- プログラム概要…………… (40)
- 受入校概要…………… (41)

ニュージーランド留学

- ニュージーランドについて…………… (43)
- 受入校概要…………… (44)
- 現地指導・支援サポート…………… (46)

イギリス留学

- イギリスについて…………… (48)
- 受入校概要…………… (49)

スイス留学

- スイスについて・受入校概要…………… (51)

You can do it now!

今だから出来ること…



高校時代、異文化の中で生活し学ぶことは、人生の中で大変意義のあることです。

柔軟性に富み、自由な発想が出来る高校時代だからこそ、
様々な体験を通じ多くのことを学ぶことが出来るのです。

しかし、青年への成長過程にある高校生は、
時として思考と行動が一致しないこともあり、
さらには不慣れな言語、社会環境に適応出来ず

フラストレーション、ストレス、
無気力、逃避などの状況に陥るケースも少なくありません。

また、親元を遠く離れ、ある種の間違った開放感と自由を覚え、
間違った方向に舵を向ける危険性もはらんでいます。

JAAC日米学術センターは安心且つ充実した留学生活の為、
現地に置いて日本人スタッフによるきめ細かいアドバイス、
カウンセリングを実施しております。

ひとりひとりが充実した高校生活が送れる様、
またそれを支える保護者の方にも安心して見守って頂けるよう
万全な留学支援体制を備えています。

JAAC 高校留学制度の特徴

JAAC 高校留学制度は、留学先やプログラムの種類によって多少の差異はあるものの、以下の6つの特徴を有しています。

(各プログラムの詳細は、P.11 以降を参照ください。)

JAAC だからできる
高校留学制度

6つの
特徴

- 1 優れた留学プログラムと安全な環境の選定
- 2 より充実した留学生活に導く、現地日本人カウンセラーによる指導 & 支援
- 3 高校留学希望者の状況に合わせた留学開始時期 “4月入学も可能“
- 4 留学を支える保護者との緊密なコミュニケーション
- 5 留学前にすべきことを適切に指導する留学準備教育と渡航前カウンセリング
- 6 高校留学を大学進学に活かすサポート

1

優れた留学プログラムと安全な住環境の選定

高校生にとって、親元や住み慣れた環境を離れて過ごす海外生活は、ストレスと戸惑いの連続です。だからこそ、環境や文化の違いに好奇心を持って楽しむ姿勢が大切なのですがそれも安全で安心できる日常生活の環境が提供されているという基本(セーフティネット)があってこそです。JAACがご紹介する留学先の学校とその教育プログラムは、その全てが現地支援事務所が事前調査を実施して慎重に選抜されており、留学生受け入れ高校として地元の評価が確立した学校ばかりです。JAAC高校留学制度では、どの留学プログラムをお選びになられても、学校とその住環境の治安と日々の生活において、日本人高校生の保護者が常識的に見て留学にふさわしいと思われる安全と安心を保障しています。



2

より充実した留学生活に導く、現地日本人カウンセラーによる指導 & 支援

留学生活中には様々なことに遭遇します。例えば、「英語力不足で授業が理解できない。」「ホストファミリーと上手にコミュニケーションが図れない。」「頑張っているけど現地の友人が出来ない。」など、高校留学生には生徒の数だけ悩みや不安があります。通常の留学プログラムでは、現地高校の教職員スタッフやホストファミリーが生徒にとっての身近な相談相手ですが、JAACの各プログラムでは現地日本人カウンセラーが各参加生の留学状況を常に見守り応援するスーパーバイザー/ガーディアン役割を果たしています。生徒の自主性(英語で当事者に相談する姿勢)を促進しながらも、状況によって必要と判断すれば、参加生に対して直接日本語でアドバイスを行う他、現地高校の教職員スタッフやホストファミリーからの相談や進言を通して、大きなトラブルを事前に回避し、充実した留学生活へと導くのが現地カウンセラーの役割です。もちろん緊急時発生の際も敏速に現地対応します。



3

高校留学希望者の状況に合わせた留学開始時期。4月入学も可能。

通常、高校1年間留学の開始時期は学年の開始時期に合わせて、アメリカ・カナダ・イギリス・スイスは8月・9月、オセアニア地区（オーストラリア・ニュージーランド）では1月末、または2月初めとなります。同様に現地校卒業を目的とした留学の場合も、学年の開始時期に合わせて渡航するのが一般的です。JAACの高校留学制度ではこれらの一般的な留学開始時期に加えて、できるかぎり、日本の学校スケジュールに支障なく留学を開始・修了できる入学時期の設定を各プログラムの高校に交渉し、一部の高校で日本の学年開始時期と同様に毎年4月に入学できるプログラムを実現しています。このほか、各学年の後期開始時期にも入学できる学校もありますので下記一覧表をご参照ください。

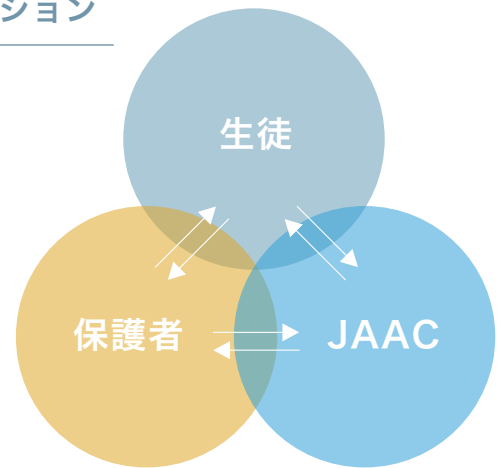
| 派遣国 | 派遣地域・学校 | 入学時期 | | プログラム | | 学校形態 | | 滞在形態 | |
|----------|--------------------------|----------|----|-------|----|------|----|--------|---|
| | | 4月 | 9月 | 1年 | 卒業 | 私立 | 公立 | ホームステイ | 寮 |
| アメリカ | ビクターバレー・クリスチャンスクール | ● | ● | ● | ● | ● | | ● | |
| | ヘスベリア・クリスチャンスクール | ● | ● | ● | ● | ● | | ● | |
| | アップルバレー・クリスチャンスクール | ● | ● | ● | ● | ● | | ● | |
| | サドルバックバレー・クリスチャンスクール | | ● | ● | ● | ● | | ● | |
| | ヘリテイジ・クリスチャンスクール | | ● | ● | ● | ● | | ● | |
| | カリフォルニア・ルーセランハイスクール | | ● | ● | ● | ● | | | ● |
| | サウスウエスタンアカデミー | | ● | ● | ● | ● | | | ● |
| | リベットアカデミー | | ● | ● | ● | ● | | | ● |
| | アイデルワイド・アーツアカデミー | | ● | ● | ● | ● | | | ● |
| | オーハイバレースクール | | ● | ● | ● | ● | | | ● |
| カナダ | ブリティッシュコロンビア州 ビクトリア学区 | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | |
| | ブリティッシュコロンビア州 カウチャンバレー学区 | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | |
| | ブリティッシュコロンビア州 バーノン学区 | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | |
| | ブリティッシュコロンビア州 ケロウナ学区 | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | |
| | ブリティッシュコロンビア州 パウエルリバー学区 | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | |
| | ブリティッシュコロンビア州 スーク学区 | | ● | ● | ● | | ● | ● | |
| | オンタリオ州 トロント学区 | | ● | ● | ● | | ● | ● | |
| | オンタリオ州 ヨークリージョン学区 | | ● | ● | ● | | ● | ● | |
| | ノバスコシア州 | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | |
| オーストラリア | 南オーストラリア アデレード市内、近郊 公立高校 | 1, 4, 7月 | | ● | ● | | ● | ● | |
| ニュージーランド | オークランド市内、近郊 公立／私立高校 | 1, 4, 7月 | | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | クライストチャーチ市内、近郊 公立／私立高校 | 1, 4, 7月 | | ● | ● | ● | ● | ● | |
| イギリス | ボーディングスクール | | ● | ● | ● | ● | | | ● |
| | 公立学校 | | ● | ● | ● | | ● | ● | |
| スイス | ボーディングスクール | | ● | ● | ● | ● | | | ● |

※高校卒業プログラムでは、各学校の学期制度に沿って入学できます。
 また、上記以外の圏、地域、学校への留学も可能ですので、ご希望がございましたらJAAC入学事務局までお問い合わせ下さい。
 ※高校入学前に、現地英語集中講座を受講することができます。その場合、講座開始日に合わせて渡航日を決定致します。

4

留学を支える保護者との緊密なコミュニケーション

お子様が留学中の保護者のご心配は、計り知れないものがあります。毎日の生活や健康上の事柄、学校での様子、人間関係、お小遣いの使いみちなど、できることならば毎日でも状況を知りたいとお思いになるのも当然です。一方で留学を通して、お子様が異文化の中で立派に自立し、保護者に過度な依存をすることなく、自主的に物事を解決できる力を養ってほしいとご期待されるのも、高校留学から得られる大きな目的のひとつであることも事実です。JAACでは、保護者のご心境を理解し、客観的で正確な情報を保護者に随時提供できるように常に心がけています。定期的な発信情報としては、学業状況報告や現地カウンセラー報告などがあります。また、保護者からのご相談に対しても、留学指導経験に基づく状況分析やアドバイスを提供して、保護者からお子様への適切なご指導がなされるよう応援いたします。これらJAACとのコミュニケーションを通して、保護者は、お子様との通信により得られる現地情報に加えて、より正しく現地の状況を把握していただくことができます。



5

留学前にすべきことを適切に指導する留学準備教育と渡航前カウンセリング

JAACでは、プログラム参加生が留学先に出発するまでの期間を留学準備期間と位置づけ、

- ①精神的な面での準備
- ②英語力向上の為の学習
- ③留学関連知識の習得に関わる指導とアドバイスを行います。

JAACでは距離的にも時間的にも制限の多い留学前のプログラム参加生に対する効果的な指導として、英語学習教材の充実を図ると共に、電話・メール・インターネットを活用し、適時留学カウンセラーから参加生や保護者へ連絡を取り、留学準備を進めていきます。英語力向上の為の学習においては、参加生の英語力に即したオリジナルの英語ワークシートを教材に、実際の留學生活で役立つ英語基礎力(単語、文法、読解、作文)と表現力を学びます。参加生はJAACから送られるワークシートを学習し、添削指導を受けます。



6

高校留学を大学進学に活かすサポート

● 日本の大学への進学支援

1 年間留学参加生へのサポート

日本の大学には、一般入試のほかに、帰国生入試、AO入試などの選択肢があります。参加生は、留学前からある程度、志望校と入試方式を絞り込んでおくことが大切です(留学はそのためのものであるという意識が必要です。)高校1年生で留学する場合は時間的な余裕がありますが、高校2年次の8・9月に留学を開始する参加生は、そのまま復学すれば、帰国時には3年生の6月になっています。(在学留学)この場合、帰国後に同級生と同時期に受験するには、一般入試まで約半年間、AO入試の出願までには1~3ヶ月余りしか時間がありません。この様な事情から、あえて高校2年に復学して、進学準備に備える参加生も少なくありません。(休学留学)

JAACでは、留学決定前の事前カウンセリング時から、1年間留学の希望者が在学留学、休学留学のいずれかを選択されるかについてご相談をお受けしています。また、いずれの選択をされた方にも高校留学を入試でも最大限に活かせる様、進路情報の提供やご相談を行います。

現地高校卒業生へのサポート

現地の高校卒業を目的に留学された参加生の国内大学への進学についても、1年間留学の参加生と同様に進学カウンセリングを行っています。大学によっては、海外の高校を卒業した生徒に対し、帰国生入試を実施しており、帰国子女生として進学する道も聞かれています。(ほとんどの大学では2年以上継続して海外の高校に在学したことが受験条件になっています。)また、留学先にて帰国生入試の準備(小論文作成指導など)や専門的な入試情報を希望される方には、JAACの推奨する提携教育機関をご紹介します。

単身留学生に対する帰国生入試実施大学例

東京大学 大阪大学 筑波大学 上智大学 早稲田大学 慶応大学 青山学院大学 立教大学
中央大学 法政大学 国際基督教大学 関西学院大学 南山大学 学習院女子大学 など

単位認定について

文部科学省は1988年、日本の高校生が海外の高等学校で取得した1学年分の単位を、同じく1学年分の単位として(30単位)認定するよう国内の高校に対して指導を開始しました。これにより、帰国後に日本の高等学校に復学する場合は、海外で修得した単位を認めてもらい、同級生と共に進級することが可能になりました。(在学留学)

ただし、単位認定の判断基準は各学校の校長先生に委ねられていますので、復学後の単位認定については、高等学校の担任の先生や留学担当の先生に必ずご確認ください。

在学留学と休学留学について

1年間の高校留学を希望される現役高校生は、留学を決意するうえで、在学留学あるいは休学留学の二つの選択肢のいずれかを決めることとなります。以下二つの形態の一般的な定義をご紹介します。

1. 在学留学

日本の高校の在籍生が海外の高校で修得した最大1学年分の単位を在籍高校が認定し、帰国後も同級生と同じく次学年に進級する留学制度。ただし、単位認定の判断基準は在籍高校の学校長の最終判断によりますので、事前に諸条件の確認を行う必要があります。また、大学進学の際の指定校推薦、AO入試などへの影響も合わせてチェックしましょう。留学期間中の履修科目の選択や学業成績も重要になります。

2. 休学留学

日本の高校に対して1学年間の休学手続きを行い、帰国後は単位認定を求めずに日本の高校で計3年間学ぶことを前提とした留学の形です。卒業年齢が同年齢と比較して1年遅くなりますが、その分、高校の教育課程の履修科目や内容理解の面で充実度は高く、大学進学準備にもより多くの時間をかけられるメリットがあります。

● 海外の大学への進学支援

1 年間留学参加生のサポート

英語圏の大学が高校生に求める3大要素とは、

- ①学力に優れていること
- ②課外活動に積極的に取り組んでいること
- ③人間的な資質に優れていること

日本人でありながら、海外の高校で1年間の留学経験を積もうとする生徒は、海外志望大学に対してアピールできる経験と実力を養う絶好の機会を得たと考えてもよいでしょう。ただし、単に留学したという事実だけでは不十分です。留学期間中のみならず、高校3年間を通して、どのような経験を積み、そこから何を学んだのか、実績と共に大学入学事務局に伝えられる確かなものを持つことが大切です。もちろん、高校の学業成績や留学生に課せられているTOEFLの得点提示などでも高得点を挙げていることが、より高いレベルの大学への進学の道を開くために必要となります。

JAACは英語圏の大学入学審査のスペシャリストとして、英語圏の大学への進学を希望する参加生に対して、大学選択、進学準備のための指導・アドバイスを帰国後も継続的に提供することができます。また、大学とJAACが共同で実施する奨学金制度を持つ大学卒業プログラムへの推薦入学や、JAACが実施する全米の大学への進学・卒業をサポートする留学制度などを用意して、参加生の高校留学プログラム終了後の大学留学を応援しています。

現地高校卒業生へのサポート

1年間留学と同様のサポート(進路指導・アドバイス、情報提供)を参加生の留学期間中に実施し、卒業直後の志望大学への直接入学の実現をめざします。

また、希望者にはSATやTOEFLの得点向上のためのサマープログラムなどへの参加手配を行います。

JAAC 留学制度参加生 2006年～2017年世界の名門大進学実績

| | |
|-------------------|-----|
| コロンビア大学 | 4位 |
| マサチューセッツ工科大学 | 6位 |
| カリフォルニア大学バークレー校 | 21位 |
| カリフォルニア大学ロサンゼルス校 | 24位 |
| 南カリフォルニア大学 | 24位 |
| ノースカロライナ大学チャペルヒル校 | 30位 |
| カリフォルニア大学サンディエゴ校 | 38位 |
| ウィスコンシン大学マディソン校 | 41位 |
| カリフォルニア大学アーバイン校 | 44位 |
| イリノイ大学アーバナシャンペイン校 | 46位 |
| ピッツバーグ大学 | 58位 |
| ジョージア大学 | 63位 |
| インディアナ大学ブルーミントン校 | 83位 |
| ミズーリ大学コロンビア校 | 97位 |

大学ランキングは USNews and World Report. Best Colleges より引用



● サウスイーストミズーリ州立大学 JAAC 特別奨学金制度

サウスイーストミズーリ州立大学が30年におよぶJAACとの共同指導体制で作上げた日本の高校卒業生のためのプログラムです。本学の学士課程 (Undergraduate Programs) の卒業を目的とする学生に対して、大学卒業までに約150万円(\$109.12×132単位=14,400ドル)の特別奨学金を提供するとともに、学生ひとりひとりにパーソナルな学業指導・支援を提供することで学業不振等による落第を回避して、より確実に卒業へと導くプログラムです。また、本学の一般授業履修に必要な英語力が不足している場合でも、大学が実施するESL授業(英語を母国語としない人のための英語クラス)を正規単位授業として受講して実践的な英語力を付けた後にスムーズに一般授業へと移行できる、アメリカの州立大学としては画期的な入学システムを採用しています。

■ **本学学士課程では、日本の大学学部に対応する7つのカレッジにおいて、理工科系から芸術までの幅広い分野で総計120を数える多彩な専攻(major)コースが実施されています。学士課程を実施する7学部**

- 1) ビジネス学部/College of Business
- 2) 教育学部/College of Education
- 3) 健康・ヒューマンサービス学部/College of Health and Human Services
- 4) 教養学部/College of Liberal Arts
- 5) 工学部/School of Polytechnic Studies
- 6) 科学&数学学部/College of Science and Mathematics
- 7) 芸術&パフォーミングアーツ学部/School of Visual and Performing Arts

■ **"本学の経験を実社会での成功経験に"**

(Experience Southeast, Experience Success)

をモットーに掲げ、全専攻コースの96%が実社会でのインターンシップをカリキュラムに採り入れて就職時に即戦力の人材を養成しています。(卒業前就職決定率、例年95%以上)

■ **ヨーロッパ、中南米、アジア、世界各国の大学との提携により、3週間の短期プログラムから1年留学まで計30プログラムを実施し、その全プログラムを大学卒業単位として認定しています。日本人留学生にとっては、留学しながら更にもうひとつの国に留学できる絶好のチャンスです。**

日本の大学進学と同等の費用で留学を実現!!

本プログラムは留学初学期から大学卒業学期まで、留学全期間を通してJAAC奨学金制度の適用が認められます。その結果留学生が負担する授業料は年間\$9,340(約100万円)となります。また大学寮の滞在費・食費は年間\$8,000(約88万円)前後ですので、年間の授業料・生活費の合計は190万円前後となります。そのため、大学進学(下宿生)と必要経費(授業料&食費)と同等、もしくはそれ以下の費用でアメリカ大学正規留学が実現出来ます。

※為替レートによって変動します。



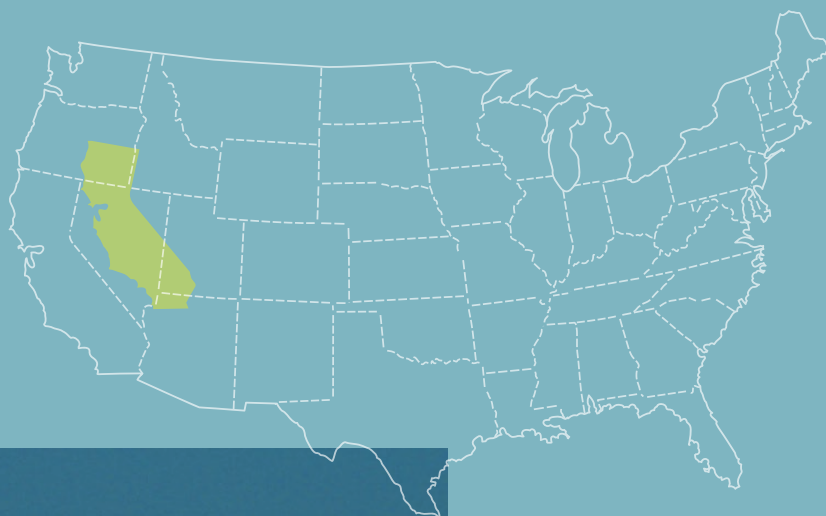
アメリカ私立高校留学

USA



カリフォルニア州

1年間プログラム・卒業プログラム/出発 4月・9月



アメリカ私立高校留学とは

アメリカの私立学校は必要条件を満たした上で、それぞれ独自の教育理念で運営されています。私立学校はキリスト教会が母体となり運営されているミッションスクールが主で、幼稚園 (Kindergarten) から高校3年生 (12年生) までの一貫教育 (K-12) を行う学校や、学生数100人以下の小規模で運営されている学校など、特色ある教育が実施されています。また私立学校の中には、プレップスクールと呼ばれる大学進学準備を目指す為の学校やボーディングスクールと呼ばれる寄宿制・全寮制の学校も相当数にのぼります。公立・私立いずれの学校でも少人数制クラスが原則で、生徒ひとりひとりの個性を尊重した教育が実施されています。

アメリカの高校は、通常8月下旬～9月上旬に新学期が始まり、翌年5月末から6月に1学年 (Academic Year) が終わります。前・後期に分かれたセメスター制度 (前期9月～1月後期2月～6月) が一般的です。

また、各学期を更に2つのタームに細分し、成績の評価を行う学校もあります。JAAC高校留学制度のアメリカ私立3校 (ピクチャーパレークリスチャンスクール、ヘスペリアクリスチャンスクール、アップルパレークリスチャンスクール) は1年間プログラムに参加する生徒を対象とした、4月に出発し、翌年3月までに帰国するという日本の学期制度に順じた、4月出発特別プログラムのホスト校として、プログラム参加生が無理なく学期途中から入学出来る様、受入体制を整えています。

履修科目は英語、理科、数学、社会、美術、音楽、体育、専門教育分野等から一定の範囲で選択していきます。(選択出来る教科は学校によって、また卒業・1年間プログラムにより違いがあります。) JAAC高校留学制度の多くのホスト校ではバイブル (聖書)、ESL (留学生向け英語) の授業を必修科目としています。また、ホスト校には留学生担当のカウンセラーの先生がいますので、授業選択はもちろん、生徒の学業サポートをJAAC現地カウンセラーと共に実施しています。

カリフォルニアについて

カリフォルニア州は、アメリカ合衆国西部に位置し、地中海性の温暖な気候、輝く太陽と2000Km以上に及ぶ美しい海岸線が続く、アメリカを代表する州の一つです。北部にはサンフランシスコ、南部にはロサンゼルスを中心とする大都市圏が形成され、州内のみならず全米のビジネスやエンターテインメント産業の中核を担っています。

カリフォルニア州は、人種の多様性でも知られています。世界中の文化や習慣、人々の考え方が融合・共存していることもカリフォルニアが常に活気にあふれる理由の一つと言えるでしょう。

ビジネスやエンターテインメント産業と合わせて、カリフォルニアは自然の豊かな場所である事も挙げられます。州内の国立公園の総面積は1万7千km、まさに大自然の宝庫と言えます。中でも世界で最大の巨樹「ジャイアント・セコイア」が息息する、セコイア国立公園やキングスカニオン国立公園は有名です。



州都: サクラメント
人口: 約3千7百万人 (国内1位)
面積: 423, 970km² (国内3位)
主要空港: ロサンゼルス空港
サンフランシスコ空港
(成田空港からの直行便で約10時間)

南カリフォルニアについて

JAAC南カリフォルニア私立高校留学制度のホスト校が所在する南カリフォルニア地域は、商業、産業、エンターテインメント産業等、すべてにおいて非常に活気にあふれる地域です。産業においては世界的に有名なハリウッドを始め、ロサンゼルス南部にはTech Coast (ハイテク工科学地帯) と呼ばれるITとハイテク産業のメッカ、ディズニーランド、ユニバーサルスタジオ、ナッツベリーファームなどのテーマパーク、郊外型大型ショッピング施設等、非常に恵まれた環境のもと、見聞を広げ多くを学ぶ事が出来る環境にあります。

南カリフォルニアにはUCLA (カリフォルニア大学ロサンゼルス校) を代表する、全米でも有数の公立大学機構であるカリフォルニア大学郡、私立大学では南カリフォルニア大学やカリフォルニア工科大学など、世界トップレベルの大学が所在しています。また、総合大学ではカリフォルニア州立大学郡や地域に根ざしたコミュニティーカレッジなど、教育施設・環境が充実しています。

学 校 紹 介

ビクターバレー・クリスチャン・スクール (4月・9月出発)

同校は1971年、カリフォルニア州ビクタービル市に設立されました。米国有数のプロテスタント宗派である"Assembly of God"が母体となっています。

また、同宗派の関連大学はカリフォルニア州を始めとし、アリゾナ州、フロリダ州、ミズーリ州など約20校に及びます。教育に大変熱心な学校としても知られ、ひとりひとりの生徒への教育を重視。小規模なクラス運営を行っています。

ビクターバレー・クリスチャン・スクールは、学業だけではなく、スポーツ、そしてボランティア活動を通してクリスチャンの精神を基本とした慈悲の心の育成、心身ともに健全で、社会に貢献できる生徒の養成に教育の重点を置いています。同校は西部地区中高・大学協会(WASC)と国際クリスチャン協会の正規メンバー校です。

- 創立1971年・生徒数/約450名
- 1クラスの平均生徒数/18名
- 学期/2学期制
- 留学時期/1年間プログラム生
4月～2月、9月～6月
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームステイ

4月入学プログラムのパイオニア

ビクターバレー・クリスチャン・スクールは2008年にJAAC日米学術センターからの依頼により、1年間留学の生徒に対して、日本の学期制に順じた4月から翌年2月までの受入れを行う、「4月入学プログラム」を初めてスタートしました。学期途中からの入学となる為、生徒が無理なく留学生活に順応出来るようJAACスタッフと連携し受入れ体制を整えてきました。

課外活動について

運動部の他にボランティア活動に積極的に参加できるカリキュラムが組まれており、卒業プログラムの場合は合計40時間のコミュニティーでのボランティア活動が必修とされています。アメリカではボランティア活動への参加が非常に重要視されており、大学進学時の書類審査などでも積極的な参加は高く評価されます。JAACプログラム参加生の多くも在学中にボランティア活動を通して地域コミュニティーとの交流を深め貴重な体験をしています。

スポーツクラブ紹介

バスケットボール、野球、ソフトボール、バレーボール

ビクターバレー・クリスチャン・スクールの特徴

- ・JAAC4月出発高校留学制度のパイオニアのホスト校。4月出発が無理なく留学生活に順応出来る様、ケアしています。
- ・カジュアルではありますが、学校が指定する服装があります。
- ・JAAC現地カウンセラーが学校・ホストを定期訪問し、学業・生活状況を確認すると共に、質問・相談にお応えします。



学 校 紹 介

ヘスペリア・クリスチャン・スクール (4月・9月出発)

同校は1966年、ヘスペリア市に設立されました。学校の母体はヘスペリア・コミュニティ教会で、学校と教会は同じ敷地内に建っています。Non-Denominationどの宗派にも属する事なく、すべての宗派を受け入れる方針を保ち、地元へ根ざした、教育を実践しています。

また、教育面においてはクリスチャンの精神を基礎とし、勤勉さ、そして人間的な成長に重点を置いた指導を行っています。違うバックグラウンドを持った留学生や無宗教の人たちにもその門戸をあけ、クリスチャンスクールでありながらリベラルな雰囲気もあります。約10ヘクタールの学校敷地内には27の教室、体育館、野球場、テニスコート、バスケットボール場、コンピュータールームがあります。

学校事務局長のシャロン・ロメロ先生は学生時代にメキシコに留学経験があり、異文化への理解をもち、留学生の受け入れに積極的な方です。

- 創立1966年
- 生徒数/約450名
- 男女共学
- 1クラスの平均生徒数/14名
- 学期/2学期制
- 留学時期/1年間プログラム生
4月～2月、
9月～6月卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームステイ

教育方針について

ヘスペリア・クリスチャンスクールではキリスト教の精神に順じた教育が実施されています。少人数生の授業を行い、大学進学にも力を入れています。毎年90パーセント以上の卒業生が州内外の4年制大学に進学しており、ここ数年ではカリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)やペパーダイン大学など、全米有数の名門大学への進学者など多くの優秀な卒業生を輩出しています。

スポーツクラブ紹介

バレーボール、アメリカンフットボール、バスケットボール、ソフトボール、野球、ゴルフ、チアリーディング

ヘスペリア・クリスチャン・スクールの特徴

- ・ 地元のキリスト教会が母体。Non-denomination(どこの宗派にも開放された)リベラルな雰囲気の学校です。
- ・ 充実したコンピュータ施設があります。
- ・ JAAC現地カウンセラーが学校・ホストを定期訪問し、学業・生活状況を確認すると共に、質問・相談にお応えします。



学 校 紹 介

アップルバレー・クリスチャン・スクール (4月・9月出発)

同校は、ファースト・バプティスト教会(現アップルバレー・バプティスト教会)を母体として1976年にカリフォルニア州アップルバレー市に設立されました。当初は幼稚園と小学校のみで始まり、1988年には高校を併設するまでになりました。生徒数は約240人と小規模私立校ですが、それゆえにアットホームな雰囲気と、生徒ひとりひとりのケアと個性を伸ばす教育が特徴です。教師・職員が留学生を暖かく迎え入れています。

同校はクリスチャンスクール・インターナショナル協会、高等教育西地区協会、インターナショナル&トランス・リージョナル認可委員会、私立学校認可機関に認可されています。

- 創立1976年・生徒数/約240名
- 1クラスの平均生徒数/12名
- 学期/2学期制
- 留学時期/1年間プログラム生
4月～2月、9月～6月
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームステイ

スポーツクラブ紹介

バレーボール・クロスカントリー・バスケットボール・
野球・ソフトボール・ゴルフ

アップルバレー・クリスチャン・スクールの特徴

- ・生徒が自由に使えるパソコンが完備されています。
- ・ひとりひとりのケアと個性を伸ばす教育。大学進学にも力を入れています。



留学先の地域紹介"全米注目の発展が続く High Desert エリア"

ビクターバレー・クリスチャン・スクール、ヘスペリア・クリスチャン・スクール、アップルバレー・クリスチャン・スクール

全米最大の人口を抱えるロサンゼルス市から車で走ること約1時間、ロサンゼルス郡に隣接するサンベルナーディノ郡最大の町、オントリオ市を抜けると目前に山々が迫ってくる。この山脈にあるビッグベアー湖付近は、冬はスキリゾート、夏はアウトドアを楽しむ人たちが賑わう人気のスポット。山々を片道3車線の高速道路で一気にてっぺんまで駆け登ると、眼下には乾いた広大な平地が地平線まで広がる。アメリカの広さを実感する瞬間だ。

山々を下るとそこは、"High Desert"の名称で呼ばれる一帯。Highとは、このあたりの標高がおおよそ900メートルあることに由来している。乾燥に強い大きなサボテンや背の低い木々が点々と広がるこの地域は、かつてハリウッド映画やテレビの屋外撮影によく使われていたらしい。なにせ雨の降らない日が年間350日、ここでは傘は売れない。エリアのこのところの発展の速さは全米でもしばしば話題になるほど。人口も急増して今では30万人が暮らす立派なベッドタウンに成長した。ビクターバレー、アップルバレー、ヘスペリアの3つの市からなるこの地域には大型のショッピングセンターやスーパーが作られ、山を越えてオントリオ市まで買い物に行く時代はもう過去のものとなった。この地域には、俗に言うFirsttime house buyer一初めて土地付きの住宅を購入する人々に適した価格の新築住宅が多い。年齢的には30代の働き盛りの両親と子供たちで町は活気づく。マイホームを求めて人が集まり、そこに新しいビジネスが生まれ、そしてまた人を引き寄せる。かつてLA郊外の新興都市がそうして発展したように、今High Desertは、注目度抜群のHigh Attentionのエリアなのだ。



学 校 紹 介

サドルバックバレー・クリスチャン・スクール (9月出発)

同校はロサンゼルス近郊オレンジカウンティ(郡)の高級住宅地の一つ、サンファン・カピストラーノの美しい山沿いに1997年に設立されました。オレンジカウンティ(郡)では一番新しい男女共学の私立学校です。同校は、カレッジプレップスクール(大学入学準備校)として設立され、生徒の大学進学に重点を置いた教育を実践しています。

クリスチャンスクールではありますが、非常にリベラルで開放的な雰囲気があり、また留学生の受け入れにも積極的です。現在600人以上の生徒が在籍していますが、1クラスの人数は14名と、小規模クラス運営をモットーとし、有名大学への進学を意識した授業を実施しています。

同校で実施されているアドバンスド・プレースメントコースは、全米でも有数の公立大学機構であるカリフォルニア大学郡(University of California)に認められており、大学単位を高校在籍中に取得することが可能です。

キャンパス内の施設はとても充実しており、野球場、フットボール場、サッカー場、バレーボールコート、ソフトボール場などが隣接しています。

一方、リベラルでフレンドリーな環境のなかでも規律を重んじ、生徒たちは学校指定の制服を着ることが義務付けられています。同校は西部地区中高・大学協会(WASC)加盟校として認可を受けています。

留学生受入について

個別の英語力に合わせて、ESL(英語補習クラス)と通常のクラスを同時に受講することもでき、留学生がスムーズに進級できるよう、細心の注意が払われています。

また、放課後には留学生のための補習授業も行っており、先生と生徒の対話を増やすことで、その生徒の特性を把握し、名前だけにとらわれるのではなく、適正な大学進学への指導を行っています。明確な目的意識と常にモチベーションを高く保ちながら学ぶ為、先生方、職員スタッフが一丸となって留学生をサポートしています。留学生の可能性を最大限に引き出す教育が実践されています。

スポーツ・文化クラブ紹介

野球・ソフトボール・サッカー・フットボール・ゴルフ・スイミング・陸上・チアリーディング・クロスカントリー・美術・コンピュータグラフィック・合唱・ダンス

- 創立1997年・生徒数/約600名
- 1クラスの平均生徒数/14名
- 学期/2学期制
- 留学時期
1年間プログラム生
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームステイ

サドルバックバレー・クリスチャン・スクールの特徴

- ・ オレンジカウンティ(郡)の高級住宅地にあり、治安はとても良い地域です。また、ディズニーランド、ビーチ、大リーグ・エンジェルスタジアムなどアクティビティ・観光面なども充実。
- ・ カレッジプレップスクール(大学進学準備校)として、高い教育水準を誇ります。
- ・ 中規模サイズの学校ながら、留学生に対するケア・指導に特に力を入れています。
- ・ 美しいキャンパス、学校施設も充実しています。
- ・ JAAC現地カウンセラーが学校・ホストを定期訪問し、学業・生活状況を確認すると共に、質問・相談にお応えします。



学 校 紹 介

ヘリテイジ・クリスチャン・スクール (9月出発)

ヘリテイジ・クリスチャンスクール(旧校名 ロサンゼルス・バプティストハイスクール)は1962年に設立された歴史あるミッションスクールです。2012年にヒルクレスト・クリスチャンスクールとの合併により、ヘリテイジクリスチャンスクールと改名しました。

ロサンゼルス・バプティスト教会の管轄の下、キリスト教の精神に沿った教育を実践しています。同校はカレッジプレップスクール(大学進学準備校)として大学進学にも力を入れており、カリフォルニア工科大学、ニューヨーク大学、ジョーンズホプキンス大学、南カリフォルニア大学など全米でも有数の名門大学への進学実績を誇っています。

- 創立1962年・生徒数/約750名
- 1クラスの平均生徒数/24名
- 学期/2学期制
- 留学時期/9月出発のみ
- 滞在方法/ホームステイ

スポーツ・文化クラブ紹介

野球・バスケットボール・チアリーディング・クロスカントリー・アメリカンフットボール(男子)・ゴルフ・サッカー・ソフトボール・水泳・テニス(女子)・陸上・バレーボール
合唱・演劇・映画・オーケストラ・ジャズバンド

ヘリテイジ・クリスチャン・スクールの特徴

- ・ロサンゼルスを中心地から30キロの距離にあるロサンゼルス近郊ノースリッジに所在する私立高校
- ・カレッジプレップスクール(大学進学準備校)として高い教育水準を誇ります。
- ・課外活動が盛んで各シーズンを通して多彩な部活動が実施されています。



学 校 紹 介

カリフォルニア・ルーセラン・ハイスクール (9月出発)

同校は1977年カリフォルニア州ウィルドマー市に設立されました。プロテスタントの代表的宗派の一つである、ルーテル派が母体となっています。カリフォルニア州の多くの私立学校は、初等・中等教育過程が併設されていますが、同校は9~12年生(中3~高3)のみ受け入れている高校(ハイスクール)であるという特徴があります。もう一つの特徴は、寮が完備されている点です。同校は、市内・近隣に暮らす生徒が通う、全日制の学校(ディスクール)ですが、キャンパス内には留学生と部活動に参加する生徒の為に寮が完備されています。生徒数約140人の小規模な高校ですが、アットホームな環境、寮生活を通し、友達や先生方との交流を深めることが出来る、魅力的な高校です。キャンパス内には、校舎、学生寮の他、フットボール場、バスケットボール場、立派な教会も建てられています。

- 創立1977年・生徒数/約140名
- 1クラスの平均生徒数/10名
- 学期/2学期制
- 留学時期/1年間プログラム生
卒業プログラム生
9月~、1月~
- 滞在方法/学生寮

学生寮について

学生寮はキャンパス内、フットボール場に隣接した場所にあります。部屋数は40あり、寮長家族が常駐しています。滞在している生徒は留学生とフットボール部の生徒がほとんどで、2人1部屋の滞在を基本としています。寮内には生徒が利用出来るコンピューター、生徒が集うラウンジ、ランドリー施設、簡単なキッチンなどが備えられています。

学校所在地について

同校があるウィルドマーはサンディエゴの北東約90キロの位置にある、緑豊かな場所にあります。人口僅か1万5千程度の小さな街ですが、カリフォルニア州内主要道路(フリーウェイ15番)沿いという立地条件のため、すぐ近くには大型アウトレットやショッピング施設、レストランなどが立ち並んでいます。治安も安定していますし、生活に便利な場所と言えます。

スポーツ・文化クラブ紹介

フットボール・バレーボール・バスケットボール・野球・ソフトボール・ゴルフ

カリフォルニア・ルーセラン・ハイスクールの特徴

- ・キャンパス内にプログラム参加生が滞在出来る学生寮が完備されています。
- ・高学年のみが通うハイスクール、教育内容も充実。
- ・留学生の受入体制を整え、生徒へのきめこまやかなケアを実施しています。
- ・JAAC現地カウンセラーが学校・ホストを定期訪問し、学業・生活状況を確認すると共に、質問・相談にお応えします。



南カリフォルニアボーディングスクール

ボーディングスクールとは、全寮制の中等教育機関・学校の名称で、イギリス・アメリカ・スイスなど欧米の国々では上流階級の子弟が親元を離れエリート教育を受ける学校として知られています。寮生活を送りながら、教師や学校職員のこまやかな指導とケア、充実した教育施設の完備された環境のもと、学業のみならず、スポーツや芸術、地域のボランティア活動を通し、協調性とリーダーシップを学ぶ環境が提供されています。

ボーディングスクールは、アメリカにおいてはプレップスクールとも呼ばれ、"プレップ"=大学進学準備校としての要素も重要視されています。少人数でディスカッションを中心としたエリート養成教育を通し、アメリカ国内外の一流大学へ学生を輩出しています。

カリフォルニア州内には合計24のボーディングスクールがあり、そのほとんどが、中・高校課程の一環校として運営されています。また、世界中からの留学生が多く学んでいるのも特徴の一つと言えます。

JAACでは次の4項を基にホスト校を選んでいきます。学校情報や入学基準などの詳細は事務局までお問合せ下さい。

- 1) 教育内容の充実度と進路実績
- 2) 学生寮の環境とケア
- 3) 留学生の受入体制
- 4) 現地カウンセラーが緊急時に速やかに対応出来る立地条件

受入校概要

Southwestern Academy

サウスウエスタンアカデミー

ロサンゼルス郊外の閑静な住宅街サンマリノ市に所在しています。世界各国から学生が集まるインターナショナルな学校です。少人数制の授業に重点を置いており、各生徒のニーズに合わせた個人指導を行っています。



- 創立/1924年
- 生徒数/130名
- 留学生比率/80%
- 学年/7年生～12年生

Ribet Academy

リベットアカデミー

ロサンゼルス市内にある共学のボーディングスクールです。大学進学準備に実績があり、高い進学率を誇っています。



- 創立/1982年
- 生徒数/350名
- 留学生比率/20%
- 学年/7年生～12年生

Idyllwild Arts Academy

アイデルワイルド・アーツアカデミー

ロサンゼルスから南東に約200km自然豊かな環境に所在する芸術分野に特化したボーディングスクールです。演劇、音楽、ダンス、映画製作、舞台演劇、ビジュアルアートなどの分野でトップアーティストを目指す生徒が世界各国から集っており、有名な芸術大学へ多数の学生を輩出しています。



- 創立/1986年
- 生徒数/300名
- 留学生比率/50%
- 学年/9年生～12年生

Ojai Valley School

オーハイバレースクール

ロサンゼルスから北西に約140kmの位置にある大変美しい街に所在する歴史あるボーディングスクールです。大学進学準備に重点を置くカリキュラムと並行しアウトドアや乗馬など様々な課外活動を実施しています。



- 創立/1911年
- 生徒数/280名
- 留学生比率/20%
- 学年/9年生～12年生

夢に向かってチャレンジする文化が刺激的！

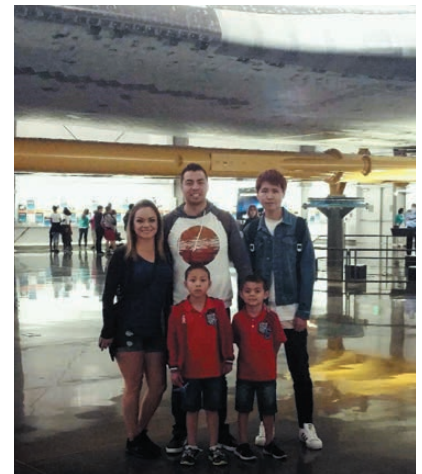
プログラム参加生 野村拓矢さん

留学期間：2017年4月～2018年2月 派遣先：アメリカ カリフォルニア州 ビクターバレー市 受入先高校：Victor Valley Christian School

留学によって得られたものは、英語力もそうですが、世界にはいろいろな人達がいるんだと知ることができました。そして、みんな違う考え方や価値観があるんだと知りました。あと色々な人の幸せがあるんだとわかりました。アメリカの文化や風習から学んだことは、アメリカの人たちは失敗をまったくおそれないことです。アメリカでは、失敗は悪くないこと

なのでとても良い環境でした。たまにはそういう環境は悪いかもしれませんが、成長にあたってとても良いと思えました。留学前は、将来のことはまったく考えていませんでした。でも、色々な人達がいて、そして色々な夢がある人がいて、すごい刺激的でした。そして今は少しずつですが、自分の夢が見えてきた気がします。あと、それまでの方法も少しずつわかっ

てきて、今何をすればいいか少しわかりました。あと、それぞれの人の幸せがあって、それで幸せならいいんだなあと思いました。あと、帰ってきてからわかったのですが、人を平等に見れるようになったと思います。なぜかという、アメリカでいろいろな人達を見てきたからです。これからは、英語を今まで以上に勉強していきたいです。なるべく日本語を聞く時間より、英語を聞く時間を長くできるように努めていきたいです。そして、行きたい大学に行けるようにがんばって勉強していきたいです。



JAAC南カリフォルニア高校留学プログラム留学カウンセラー

私は日本を離れて、こちらでの生活が今年で11年目になります。私自身も留学生としてアメリカに渡米し、現在に至っています。留学生としての経験、日本・アメリカでの実務経験を、留学生の皆さんの指導支援サポートに活かしていきたいと思えます。留学生の皆さんの一人一人の夢・希望を叶えるため、そして少しでも目標に近づいていけるよう、心強いサポーターとして、私自身の経験を通して学んできたことをできる限り皆さんにお伝えできればと願っています。アメリカ留学を通し、皆さんの成長していく過程に携わっていることを心から楽しみにしています。



アユミ・グリーン (Ayumi Green)

大学卒業後株式会社ナガセ東進ハイスクール予備校にて、大学受験予備校の担任業務を3年間務める。
その後、留学生として単身渡米、カリフォルニア州コストメサの話学学校にて英語を習得。
2008年よりPoly Languages Institute-Irvine campusにて、入学手続き、ホストファミリーとの連絡、留学生アシスタント、留学機関との連絡業務等を行う。2009年からはSouthern States University-Newport Beach campusにて大学・大学院・ESLプログラムの入学手続き、生徒進路相談(特に日本人入学希望者証在校生対象)などのカウンセリング業務を務める。
MBA(経営修士号)-Southern States University BA(学士号)日本女子体育大学卒



日本人の専任カウンセラーによる現地指導・支援サポート

南カリフォルニアに専任の現地カウンセラーが常駐し、学校、そしてホスト・コーディネーターへの連絡を通して、プログラム全体の運営状態の管理を行います。学校からは学業上、学業態度のトラブルに関して、常にこちらに連絡がはいるようなシステムを構築しています。また、コーディネーターからもJAAC現地カウンセラーに生活面での状況報告が直接行われます。学業、そして生活面で参加生徒が滞りなく留学生活を送れるよう、万全な体制でサポートします。

■ 現地オリエンテーション

南カリフォルニアでの生活を始める上で必要な事柄の説明や情報提供を行います。

■ カウンセリング(学業&生活)・状況確認

学校訪問、電話、メール、そしてスカイプ(無料インターネット電話)など、コミュニケーションの方法を問わず、生徒との"会話"を継続していきます。その中で学業・生活面での問題があれば、適切なアドバイスや対処を行い、問題解決に努めます。また、学業成績も和訳を添え、定期的に保護者に配信します。

■ 医療相談・支援

随時、心身の健康面についての相談に応じながら、必要に応じて専門医や病院を紹介し、適切な医療が受けられるよう支援致します。

■ 留学保険の保険金請求アシスト

留学保険を利用する際、日本の入学事務局、または現地カウンセラーが保険会社との連絡を行い、必要な事務処理及び手続きについてのご案内と、対処・対応についてのご相談に応じます。

■ 現地後見人(ガーディアン)サービス

高校留学では、生徒が未成年であり、保護者がアメリカにいないことから現地における後見人が必要です。保護者様とご相談・合意の下に、現地カウンセラーが現地後見人としての役割を担います。

■ 緊急時支援

突発的な事故、疾病や怪我、その他、緊急性を伴う事態が発生した際の支援サービスです。生徒やホスト、学校、または関係者からの緊急連絡を受け、状況確認をした上で直ちに保護者にご連絡致します。状況に応じてホスト、学校、友人、また病院等の関係諸機関に連絡・確認を取りながら事態の適切な対処・対応にあたります。



保護者様にも安心のサポート

留学には、保護者様のご理解とご協力が最も重要です。保護者様にお子様現地での様子をお伝えし、安心して見守っていただくことは、留学を支援するJAACの役割のひとつであると考えます。日本の入学事務局と現地カウンセラーとの連絡を密にし、双方からサポートしておりますので、ご心配な点があれば、日本・現地どちらの事務局にも、お気軽にご質問・ご相談下さい。

■ マンスリーレポート

学校でのこと、日常生活の様子、健康状態等、お子様の状況を報告する現地カウンセラーレポート(マンスリーレポート)を月1回送付致します。

■ 保護者様対象電話・Eメールでの相談

現地カウンセラー、または日本のJAAC入学事務局では、随時、保護者様からのご質問やご相談にお応え致します。

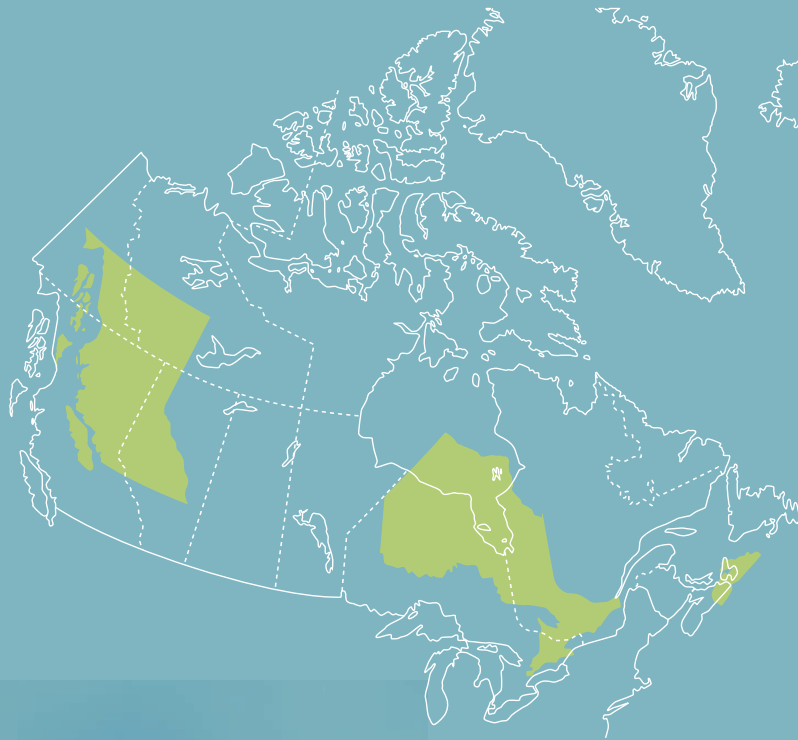
カナダ留学

CANADA



ブリティッシュ・コロンビア州 / オンタリオ州 / ノバスコシア州公立高校

1年間プログラム・卒業プログラム / 出発 4月・9月



カナダの教育制度について

カナダの教育は州政府が管轄しています。カナダには10州と3準州が存在し、各州の教育省が教育基準を設定、各地域の歴史・文化が反映された教育内容・カリキュラムを実施しています。

教育制度は、初等・中等・高等教育の3段階に分かれている点や、初等教育が6歳からスタートする点は日本やアメリカと同様です。州によって初等・中等教育の区切りは異なりますが、フランス語圏のケベック州を除き、初等教育と中等教育の就学期間は12年間です。カナダの公用語は英語とフランス語であることから、第二言語として、英語圏ではフランス語を、フランス語圏では英語を学ぶ生徒が多くみられます。

また、JAACカナダ公立高校留学制度の受入学区の中には、フレンチ・イマージョン教育(フランス語で授業を行う教育)を実施するなど、カナダならではの特色ある教育制度がみられます。義務教育は6歳ないし7歳から15歳ないし16歳までとなっています。初等教育では児童ひとりひとりの個性を重視した、ゆったりとしたカリキュラムが組まれています。中等教育に入ると、学区や学校によって多少違いはありますが、大学進学を目的とした授業、コミュニティーカレッジや専門学校、就職の準備をする為の授業など、幅広い授業が実施されています。

学校形態は公立学校(Public School)と私立学校(Private School)があります。また一部の州ではセパレート・スクールと呼ばれるキリスト教の宗派に分かれた学校もあります。

高校教育について

カナダの高校は、通用8月下旬~9月上旬に新学期が始まり、翌年5月末から6月に1学年(Academic Year)が終わります。前・後期に分かれたセメスター制度(前期9月~1月/後期2月~6月)が一般的です。JAACカナダ公立高校留学制度の受入学区は1年間プログラムに参加するJAAC生徒に対し、カナダの学期制度に順じた9月出発、並びに4月に出発し翌年3月までに帰国するという日本の学期制度に順じた、4月出発生の受入をおこなっている学区も多数あります。

履修科目は生徒がそれぞれのカリキュラムを組み合わせ選択制で、時間割に応じて教室へ移動して授業を受講します。

(1年間プログラムの生徒は学校のカウンセラーが履修科目をある程度指定するケースもあります。)

前述の大学進学、職業訓練など、さまざまな授業が実施されています。芸術、技術、職業訓練系の授業の中には、映像制作やジュエリーデザイン、ツアーリズムや自動車整備など、多彩な科目がある事も魅力です。

ブリティッシュ・コロンビア州について

ブリティッシュ・コロンビア州は、カナダ南西部に位置し、穏やかな海、深い森、頂上に氷河が輝く山々、神秘的な湖…等自然に溢れた美しい州です。

2010年冬季オリンピックが開催されたことで注目を集めた大都市バンクーバーや英国の伝統の香りを残す州都ビクトリア、スキーリゾートで著名なウイスラーには世界各国から多くの観光客が訪れます。

英調査機関EIUが実施する「世界でいちばん住みやすい都市」調査で、バンクーバーが毎年No.1に選ばれていることからわかるように、バンクーバーを始めとするブリティッシュ・コロンビア州の市や町は、環境・気候・治安・教育・文化など様々な面で生活しやすい条件が整っていると言えるでしょう。州の教育省や各学区の教育委員会では、留学生の受け入れを積極的に行っており、留学生が安心して学ぶことのできる環境を整えています。

「治安が良く住み易い」、「多文化・他民族国家であり、国際感覚が身に付く」、「雄大な自然の中で、様々なアクティビティーが体験できる」といった理由からカナダ留学を希望する高校生は多く、中でもブリティッシュ・コロンビア州は人気の高い留学先のひとつにあげられます。

州内のどの学区も教育省の下、一定の教育水準が保たれていますので、学区によって教育の質に違いはありませんが、都市部の学区か、その周辺の小さな市や町にある学区かによって生活環境は異なります。

個々の目的やご希望によって、留学先をお選びいただけます。



オンタリオ州について

オンタリオ州はカナダの州の中では最も人口が多く、国全体の人口の約3分の1がこの州に集まっており、カナダの政治・経済の中心となっています。世界的に有名なナイアガラの滝、世界第2位の水量を誇るセント・ローレンス川をはじめ、何千もの淡水湖や川を有するオンタリオ州は、南の州境を五大湖の4つ、オンタリオ湖、エリー湖、ヒューロン湖、スペリオール湖に囲まれ、ボート、釣り、キャンプなどのアウトドアが盛んです。また、カナダの二大都市である州都トロントと首都オタワがあり、世界有数のアトラクションやレストラン、映画館、劇場、ミュージアム、ギャラリーが軒を連ねるほか、ショッピング・スポットも充実しています。

高校留学プログラムを実施するホスト学区が所在するトロントはオンタリオ州の州都であり、カナダのビジネス、経済の中心地と称される活気にあふれた多文化都市です。オンタリオ湖の西端に位置しており、人口約550万人、カナダ最大の都市であり、北米大陸でも5番目に大きな都市です。先住民のヒューロン族の言葉で「出会いの場所」という意味があり、その名の通りイギリスやフランスなどヨーロッパからの移民の他、世界各国からの移住者によって構成されており、120以上の言語が聞こえてくる多文化都市と称されています。

ノバスコシア州について

ノバスコシア州はカナダ東部にある海に囲まれた海岸線の非常に美しい小さな州です。人口は約100万人、カナダの他州と比べ授業料や生活物価も比較的安く、田舎の落ち着いた雰囲気の中で留学生生活を過ごす事が出来る為、留学生に人気のある州と言えます。ノバスコシアとは「新しいスコットランド(New Scotland)」を意味しており、実際にスコットランド系の住人が多く、次いでイングランド系、フランス系、ドイツ系と続き、ヨーロッパ系が人口の約90%を占めています。海に囲まれていることから、カヤックなどのウォーター スポーツでも人気があります。潮の干満が激しいことで知られるファンディ湾は、ホエール ウォッチングのスポットとしても有名です。気候は大西洋に面しているため、比較的穏やかで内陸部に比べると積雪はそれほど多くありません。

Ontario

州都：トロント
人口：1,200万人（国内1位）
面積：1,076,395 km²（国内4位）
主要空港：トロント空港
（成田空港から直行便で約12時間）

Nova Scotia

州都：ハリファックス
人口：92万人（国内7位）
面積：55,238km²（国内12位）
主要空港：ハリファックス空港
（成田空港から約16時間）

JAACを通して留学される生徒、 保護者の皆様へ

カウチャンバレー学区留学プログラムへようこそ

私は本学区の地域コミュニティー、学校教職員、全生徒を代表して、皆さんが私たちのパートナーであるJAACを通してカナダ・バンクーバー島のカウチャンバレー地域に留学されますことを心より歓迎します。

長年にわたり、良質な留学環境と教育プログラムを紹介しているJAACは、私達が最も信頼する提携団体の一つであり、留学プログラムのパートナーとしての信頼関係を築いてきました。JAACのスタッフ達は、カナダやカナダの教育プログラムを熟知し、安全で協力的なホストファミリーでのホームステイ、高校における授業や課外活動体験の提供など、参加生ひとりひとりが個性的でユニークなカナダを経験させる能力に秀でています。

私たちが1987年に最初の留学生を受け入れて以来、すでに数百名にのぼる留学生がカウチャンバレー学区の高校で学んできました。その中には1年間の留学生や、3~4年間を本学区の高校で学び、卒業する留学生もいます。高校卒業生達は、その後カナダや全米の大学はもとより、世界各国の大学に進学しています。

私達のプログラムの目標は、留学生の皆さんに学業、異文化理解、現地の人々との交流など、様々なアクティビティーと機会を提供する事です。皆さんが新しい体験や課外活動、スポーツチームなどに積極的に参加される機会を提供し、その挑戦をサポートするのが本プログラムの役割です。それらの活動や経験で得た思い出と当地で知り合った人々との友情は、皆さんにとって忘れることのない生涯の宝物になるにちがいありません。

私たちはJAACが留学生ひとりひとりの個性を尊重し、個人的なサポートの必要性を理解し、留学生が楽しく充実した生活を送る為の活動を実施していることを高く評価しています。それは私達プログラムが掲げる卓越した環境の提供、学生へのサポートというミッションと同じ考えを基盤としているからです。

皆さんが素晴らしい自然と温かい人々の暮らす美しいカウチャンバレー学区への留学について、強いご関心をお持ちいただいていると、近い将来、JAACのスタッフを通じてお聞きすることができますことを、私は楽しみにお待ちしております。



EJ ホーランズ・ギャンベル
留学生プログラム 学区責任者

受入学区概要 ビクトリア学区公立7校（4月・9月出発）

ビクトリア市はブリティッシュ・コロンビア州の州都で、花と緑に溢れる美しい町並みから「庭園都市」と呼ばれ、世界でも有数の観光地のひとつとして知られています。気候も温暖で、治安も良く、行政、芸術、高等教育等の中心都市です。英国調の歴史的建造物、大学、博物館、美術館、交響楽団や劇団、国立のトレーニングセンターなどもあり、文化に触れ、スポーツ等を楽しみながら学べる良い環境が整っています。

ビクトリア学区は住みやすい環境と、質の高い教育プログラムを提供していることから留学生に人気があり、アジア、ヨーロッパなど世界各国から高校生が集まって学んでいます。

ホスト先で他国の留学生と一緒にあったり、留学中に知り合った他国の生徒宅をその後訪問したり、といったことも少なくありません。多くの国の人々と出会い、様々な価値観や文化を学ぶことができるのも同学区の特徴です。

ビクトリア学区の特徴

花と緑が溢れる美しい町、世界各国から留学生が集まります！

- ・花と緑が溢れる美しい庭園都市、ビクトリアの公立高校への留学プログラムです。
- ・公立高校7校の中から、ご希望に沿って受入高校を選択します。
- ・日本の学期制度に合わせた4月出発、または9月出発のどちらかを選択します。
- ・アジア、ヨーロッパなど世界各国から留学生が集まります。
- ・町には博物館、美術館、大学、スポーツ施設などがあります。多くの国の人々と出会い、文化、芸術、スポーツに触れながら留学生活を送りたい人にお勧めです。
- ・ビクトリア在住のJAAC高校留学カウンセラーが、留学生活をサポートします。



学校紹介 代表的なホスト校

Victoria High School

ビクトリア高校

1876年に創立されたカナダ西海岸の公立高校では最も歴史が古い由緒ある高校です。英国調の趣きある校舎は、100年以上前に建てられました。様々な国からの留学生が学んでいます。ホスピタリティ・ツーリズム、ジャーナリズム、芸術、音楽を始め、数多くの選択科目があり、自分に合った科目を学ぶことができます。

- 生徒数/約1,150名
- 留学生数/平均80名
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期
1年間プログラム生
4月～2月、9月～6月
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームステイ

周辺環境

ダウンタウンに近く、交通の便に恵まれています。交通の便が良い為、他校の生徒も放課後ESLや補習に通っています。学校周辺にはお店もあり、お昼休みは生徒で賑わいます。住宅街の中にあり、安全な場所にあります。



Lambrick Park Secondary School

ランブリックパーク高校

公立高校では珍しく学校が小規模。その為、先生と生徒、または生徒同士の距離が近く、親しみやすい学校です。スポーツでは女子のバスケットボール部が有名。ブラスバンド部がパレードに参加するなどコミュニティーへの参加も積極的に行っています。大規模校と比べ、クラブ活動やクラスを通じて友達を作りやすい環境です。

- 生徒数/約650名
- 留学生数/平均40名
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期
1年間プログラム生
4月～2月、9月～6月
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームステイ

周辺環境

ダウンタウンからバスで約25分程離れた静かな住宅街にあります。近くには小学校、コミュニティーセンターが隣接、水泳、ジム、テニスコート、スケートボード公園、広いグラウンドもあり、スポーツするには適しています。



受入学区概要 カウチャンバレー学区公立4校（4月・9月出発）

カウチャンバレー学区は、バンクーバー島の南部に位置しています。壮麗な景色、海、美しい湖に囲まれた自然豊かな環境です。ビクトリア市から車で1時間の距離にあり、交通の便も良いのが特徴です。カウチャンセーターの発祥の地であり、自然と共存しながら生活するファーストネーション（先住民）の歴史・文化が大切に継承されています。避暑地として著名なカウチャンレイクには、キャンプやハイキング、釣りなどアクティビティーを楽しむ人々が遠くから訪れます。

地区は広範囲に渡り、中心となっているのがダンカン市、その周りにシュメイナス町、レイクカウチャン町、ミルベイ町があり、それぞれの町に1校の高校があります。ビクトリア市に比べると郊外にあるため、ホストの中には馬を飼っていたり、ボートを所有している家庭もあり、心温かなホストと、都会では味わうことのできないホームスティを体験できます。また本学区は、留学生へのきめ細かなケアにも定評があります。地域の人々もとてもフレンドリーです。小規模、また治安の良いコミュニティで留学生活を送りたい生徒には、最適な環境と言えます。



カウチャンバレー学区の特徴

心温かい住民、留学生へのきめ細かなケア！

- ・自然豊かな、安全で落ち着いた環境の中で学びます。
- ・都会では味わえない素朴で心温かいホームスティを体験できます。
- ・キャンプ、ハイキング、サイクリング、ゴルフ、水泳、釣り…など、自然の中でのアクティビティーが楽しめます。
- ・カウチャンセーター発祥の地、ファーストネーション（先住民）の歴史や文化が継承されています。
- ・日本の学期制度に合わせた4月出発、または9月出発のどちらかを選択します。
- ・ビクトリア在住のJAAC高校留学カウンセラーが、毎月学校、またはホスト宅を訪問し、生活状況を確認します。

学校紹介 代表的なホスト校

Cowichan Secondary School

カウチャン高校

校内にはカウチャンバレー学区の留学生を担当するオフィス（留学生事務局）が設置されていますので、わからないことがあればいつでも相談することができます。学生数が多い学校ですが、生徒・先生共にとてもフレンドリーで、留学生にとって学びやすい環境が整っています。

- 生徒数/約980名
- 留学生数/平均20名
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期
1年間プログラム生
4月～2月、9月～6月
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームスティ



周辺環境

学校はこの地域では最も大きい街であるダンカン市にあります。周辺にはスイミングプール、アイススケート場、図書館、また商店街やレストランもあります。街中にはトーンポールが立ち並び、先住民の村を再現した文化センターもあり、この地域の文化を学ぶことができます。

Chemainus Secondary School

シュメイナス高校

閑静な住宅地にある小規模な学校です。先生も生徒一人一人に目が行き届いており、きめ細かな教育を提供します。生徒同士も学年を越えて交流し、皆仲良く学校生活を送っています。授業は、自分に合った科目をカウンセラーの先生と相談しながら履修します。

- 生徒数/約360名
- 留学生数/平均8名
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期
1年間プログラム生
4月～2月、9月～6月
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームスティ



周辺環境

ダウンタウンに近く、徒歩で行くことができます。近くに観光名所となっている壁画があり、夏は世界中からの観光客で賑わいます。海にも近く、昼休みはビーチでランチをとることもあります。町にはショッピングセンター、銀行などがあり、小さい町ながらも充分な施設が整っています。

受入学区概要 バーノン学区公立4校（4月・9月出発）

バーノンは、美しい山、渓谷、川、そして湖に囲まれた自然豊かな町として有名です。市内には大規模なスキーリゾートやゴルフ場があり、夏はオカナガン湖でのアクティビティーも盛んです。年間を通し、広大な自然の中で様々なリクリエーションができるでしょう。人口49,000人の落ち着いた町ですので、治安も大変安定しています。バンクーバーから車で6時間、夏は暑く、カナダのハワイと呼ばれているこのバーノンは、夏になるとオカナガン湖へ、湖水浴に来る観光客で賑わいます。アメリカとの国境にも近い為、アメリカからの観光客も少なくありません。

バーノン学区には中学校と高校を合わせて5校、14の公立校があります。地域の中心はバーノン市であり、殆どの高校はバーノン市内にあります。留学生に人気のブリティッシュ・コロンビア州にありながら、バーノン学区は、日本人を含め留学生が少ない学区と言えます。留学生には、他の学区と同様に英語力向上の為に英語集中講座やカナダの文化を学ぶ為のカリキュラムを提供しています。大自然の中、日本人が少ない環境で学びたい生徒にお薦めの学区です。



バーノン学区の特徴

オカナガン湖の湖畔に位置する最高の環境！

- ・四季がはっきりとした自然豊かな、安全で落ち着いた環境の中で学びます。(夏は40度、冬は-20度ほど)
- ・湖、山、そしてカナダには珍しく砂漠地帯があります。
- ・スキー、テニス、アイスホッケー、水泳などのスポーツが盛んです。
- ・日本の学期制度に合わせた4月出発、または9月出発のどちらかを選択します。
- ・JAAC現地カウンセラーが毎月電話またはEメールにて、学業・生活状況を確認すると共に、質問・相談にお応えします。また、到着時には現地オリエンテーションを、年度途中にもバーノンを訪問し、面談を行います。

学校紹介 代表的なホスト校

Clarence Fulton Secondary School

クラレンスフルトン高校

クラレンスフルトン高校は生徒数が約1,000人の学区内で最も規模が大きい学校です。留学生は50名ほどおり、アジアだけでなく、ヨーロッパ、南米等の国々からも留学しています。規模が大きい分、留学当初慣れるのに少し時間がかかりますが、様々な授業が実施されていますので、履修科目の選択肢が多いというメリットがあります。

- 生徒数/約1,000名
- 留学生数/平均50名
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期
1年間プログラム生
4月～2月、9月～6月
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームステイ

周辺環境

学校は校外の落ち着いた場所に位置しており、学習する上でとてもよい環境と言えます。近隣にはスキー場があり、町からシャトルバスも出ています。ホストや友人とウインタースポーツを楽しむこともできるでしょう。



W.L.Seaton Secondary School

シートン高校

生徒数約850名の中規模の学校です。ヨーロッパ、南米、アジア等から25名ほどの留学生が学んでいます。日本人留学生は少なく、1～2名程度です。フランス語で授業を行う科目もあります。

- 生徒数/約850名
- 留学生数/平均25名
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期
1年間プログラム生
4月～2月、9月～6月
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームステイ

周辺環境

バーノン町のほぼ中央(西)にあり、徒歩圏内に商店街、銀行、映画館、レストラン、コーヒーショップ等生活に便利な店や施設が揃っています。また、学校から少し歩くと住宅街もあり、本プログラム生の中には、徒歩5分でホームステイ先から通学していた生徒もいます。便利なロケーションにある学校です。



受入学区概要 ケロウナ学区公立5校（4月・9月出発）

ケロウナは、バンクーバーから車で6時間、観光とフルーツの町として知られています。オカナガン渓谷の中心となる街で、全長110kmにも及ぶオカナガン湖を中心に街が広がっています。夏は湖水浴やウォータースポーツを楽しむ人々や、近年有名になったオカナガンワイナリーを訪れる観光客で賑わいます。また、湖の周りには、川や美しい山々が広がっていますので、ハイキング、キャンプ地として大変人気があります。市内にカナ



ダで10番目に利用客が多いケロウナ国際空港があります。ブリティッシュ・コロンビア州でバンクーバー、ビクトリアに次ぐ3番目に大きな都市ですが、人々は皆フレンドリーで、治安も良く、都会と地方都市の両方の要素を兼ね備えた住みやすい環境です。

ケロウナ学区公立校(小・中・高校)の2017年度の生徒数は22,000人。通常大きな都市には日本人留学生が多数在籍している場合が多いのですが、ケロウナ学区では比較的日本人が少ないのが特徴です。都会で、尚且つ日本人が少ない所で学びたい生徒には適した環境です。

ケロウナ学区の特徴

州で3番目に大きい都市、都会でありながら日本人が少ない環境です！

- ・ケロウナは、バンクーバー、ビクトリアに次ぐブリティッシュ・コロンビア州第3の都市です。
- ・市内に国際空港があるため交通の便も良く、気候も温暖、人々もフレンドリーで住みやすい地域です。
- ・壮大なオカナガン湖、美しい山々、果樹園とワイナリーなどカナダでも有数のリゾート地です。
- ・日本の学期制度に合わせた4月出発、または9月出発のどちらかを選択します。
- ・JAAC現地カウンセラーが毎月電話またはEメールにて、学業・生活状況を確認すると共に、質問・相談にお応えします。また、到着時には現地オリエンテーションを、年度途中にもケロウナを訪問し、面談を行います。

学校紹介 代表的なホスト校

Kelowna Secondary School

ケロウナ高校

ケロウナ高校では、全ての授業をフランス語で受けることができるフレンチイマージョン教育を展開しています。

その為、この学区でフレンチイマージョン教育を希望する生徒が集まります。校舎も大きくて新しく、コンピュータールーム、ジムなど設備も充実しています。

- 生徒数/約1,500名
- 留学生数/平均20名
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期
1年間プログラム生
4月～2月、9月～6月
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームステイ

周辺環境

学校は街の中心にあり、バスで5分ほどのところに、大きなショッピングモールもあります。スポーツが盛んで、水泳、テニス、バトミントン、野球、ソフトボールなど様々なコミュニティのクラブに参加することができます。



Rutland Senior Secondary School

ラットランド高校

ラットランド高校はアカデミックコースが充実しています。ブリティッシュ・コロンビア工科大学と連携して大学の単位をとることもできます。また、野球とアイスホッケーのアカデミーがあり、優秀なコーチによる質の高いトレーニングが行われています。

- 生徒数/約1,400名
- 留学生数/平均15名
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期
1年間プログラム生
4月～2月、9月～6月
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームステイ

周辺環境

ケロウナ国際空港のすぐ南側に位置する学校です。周辺は閑静な住宅地で落ち着いた環境です。スクールバスも通っていますので、住宅地のホストに滞在する場合は通学にも大変便利です。



受入学区概要 パウエルリバー学区公立2校（4月・9月出発）

パウエルリバーは、バンクーバーから北西140kmのところにある小さな港町です。西にジョージア海峡とバンクーバー島を望み、サンシャインコーストの最北西に位置しています。人口は約20,000人、人々は皆フレンドリーで留学生を暖かく迎え入れてくれます。海、山など雄大な自然環境で知られており、気候も温暖なため、年間を通して自然を利用した様々なアクティビティが楽しめます。ハイキングやマウンテントレッキングなど山でのレジャーはもちろん、水泳、釣り、ボート、ダイビングなどのマリンレジャーも体験できます。夏は過ごしやすく、特に海水が暖かであることから、アメリカからヨットセーリングでバカンスに来る観光客もいます。

学区には公立高校が1校、中学校1校、小学校6校の公立校があります。留学生受け入れ実績も長く、留学生のための英語集中講座も実施、専任のホームステイ担当者を置くなど、受入体制も充実しています。また、学生総数に対する留学生の総数を2パーセント以下に制限している為、日本人留学生の少ない地域と言えます。



パウエルリバー学区の特徴

海辺の美しい町、フレンドリーな人々が留学生を受け入れます！

- ・豊かな自然に囲まれ、空港からも港からも近く、交通の便が良い過ごしやすい地域です。
- ・海を生活の一部としており、水泳、釣りなどマリンレジャーが盛んです。
- ・先生方もフレンドリーで、留学生の受入体制も充実しています。
- ・日本の学期制度に合わせた4月出発、または9月出発のどちらかを選択します。
- ・JAAC現地カウンセラーが毎月電話またはEメールにて、学業・生活状況を確認すると共に、質問・相談にお応えします。

学校紹介 代表的なホスト校

Brooks Secondary School ブルックス高校

ブルックス高校には9年生から12年生が学んでいます。生徒数は約900人、比較的規模の大きい学校です。多くの教科が実施されているため、自分に合った科目を選択できます。アジア系だけでなく、ヨーロッパ、南米等様々な国からの留学生が在籍しています。

- 生徒数/約900名
- 留学生数/平均23名
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期
1年間プログラム生
4月～2月、9月～6月
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームステイ

周辺環境

海に見える傾斜地に学校は位置しています。周りは閑静な住宅地で、落ち着いて学習が出来る環境です。パウエルリバーは海、山、川に囲まれた自然豊かな田舎町です。大自然の中、キャンプ、水泳などアウトドアアクティビティを体験できます。



受入学区概要 スーク学区公立3校（4月・9月出発）

州都ビクトリア市から西へ車で20分程（約15km）走るとスークの街並みが見えて来ます。町の中心へは更に西へ約30分、東西に細長い形をしたこの町は、近年ビクトリア郊外の静かな新興住宅地として人気を博しています。美しい入江、山、川、湖など豊かな自然に恵まれ、著名なホテルもあることから、リゾートタウンとしても知られています。また、海に面して町があるため、サーフィンをしたり、釣りやヨットを楽しんだりウォータースポーツも盛んです。スーク学区には小学校18校、中学4校、高校3校の公立学校があり、9,200名の生徒が在学しています。市街地はスークとビクトリア市の間にある町ラングフォード市に隣接した地域と、スーク市ダウンタウンの二箇所に分かれています。特にスークとラングフォード市の境界地域の人口増加が著しく、ベルモント高校の生徒数が1,800名を超した為、新設校ロイヤルベイ高校が開校されました。



スーク学区の特徴

海辺の美しいリゾートタウン、最新の設備が整った新校舎で学ぶ！

- ・州都ビクトリアから車で20分、海辺の美しいリゾートタウンです。
- ・近隣のビクトリア学区に比べ、日本人生徒が少ないのも特徴です。
- ・高校3校の内、2校は最新の設備を擁した新しい校舎です。

学校紹介 代表的なホスト校

Belmont Secondary School ベルモント高校

生徒数1,200名、学区の中心的な学校です。2015年9月に新校舎が完成しました。バレースタジオ、音楽教室、PCラボ、シアター、体育館、広大なグラウンド等最新の設備を擁し、芸術面においても、スポーツ面においても優れた教育を実施しています。また、野球を真剣に学ぶ生徒の為にベースボールアカデミーがあり、質の高いプログラムが提供されています。

- 生徒数/約1,200名
- 留学生数/平均90名
(内日本人数5名/2016年現在)
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期
1年間プログラム生
4月～2月、9月～6月
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームステイ

周辺環境

学校は静かな住宅街にあります。徒歩圏内に大きな映画館やショッピングモールなどがあり、日常生活にはとても便利です。またボーリング場や、YMCA等の施設にも近い為、スポーツやコミュニティに参加出来る機会にも恵まれています。



Royal Bay Secondary School ロイヤルベイ高校

2015年9月に新設された新しい学校です。校舎に入ると吹き抜けのラウンジ、シアター、PCラボ、調理室、機械科用教室、海が一望できる屋上バスケットコート、広大なグラウンド、ジムなど、最新の設備が整っています。サッカーアカデミーがあり、サッカーを真剣に学びたい生徒の為に質の高いプログラムが提供されています。

- 生徒数/約800名
- 留学生数/平均60名
(内日本人数8名/2016年現在)
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期
1年間プログラム生
4月～2月、9月～6月
卒業プログラム生
9月～、1月～
- 滞在方法/ホームステイ

周辺環境

学校はビクトリア市内から車で20分、近年急速に開発が進んでいる地域に位置しています。広大な敷地を住宅街、ショッピングセンター、学校に区画整理し、開発を進めています。校舎の眼下には海が広がり、自然豊かな環境です。





日本人の専任カウンセラーによる フリティッシュ・コロンビア州現地指導・支援サポート

州都ビクトリア市内には日本人の専任カウンセラーが常駐し、安全で安心な留學生活を送れる様、参加生の皆さんを現地でサポートする体制を整えています。留學生活の中では、ご家族と離れて生活する寂しさ、言葉の壁、文化・慣習の違いなどから悩みや問題も生じます。ビクトリア近隣の学区に留學する生徒には定期的に学校・ホスト宅を訪問してカウンセリングを、遠方の学区に留學する生徒には電話・Eメールで連絡をとり、困っていることはないか、また生活に問題はないか…参加生の皆さんの学業・生活の状況を確認し、適切なアドバイスを行います。また緊急時には現地に赴き、問題解決にあたるなど、万全な体制で留學生活をサポート致します。

■ 現地オリエンテーション

カナダでの生活を始める上で必要な事柄の説明や、情報提供を行います。

■ 定期カウンセリングによる状況確認と学業・生活アドバイス

定期的に学校・ホスト宅を訪問、或いは電話・Eメールにて月に1度カウンセリングを行います。カウンセリングでは、生徒の生活状況を確認すると共に、学校での学業への取り組み方、ホスト宅での過ごし方等、アドバイスを行います。
(ビクトリア学区、カウチャン学区、スーク学区/月1回学校またはホスト宅を訪問。ケロウナ学区、バーノン学区、パウエルリバー学区/月1回電話・Eメールによる連絡)

■ 電話・Eメールでの学業・生活相談(随時)

留學生活の中で直面する疑問・悩み・戸惑いなど、いつでも電話・Eメールで現地カウンセラーにご相談下さい。問題を未然に防いだり、早期に解決するようサポート致します。

■ 医療相談・支援

随時、心身の健康面についての相談に応じながら、必要に応じて専門医や病院を紹介し、適切な医療が受けられるよう支援致します。

■ 留學保険の保険金請求アシスト

留學保険を利用する際、日本の入学事務局、または現地カウンセラーが保険会社との連絡を行い、必要な事務処理等及び手続きについてのご案内と、対処・対応についてのご相談に応じます。

■ 現地後見人(ガーディアン)サービス

高校留學では、生徒が未成年であり、保護者がカナダにいないことから現地における後見人が必要です。保護者様とご相談・合意の下に、現地カウンセラーが現地後見人としての役割を担います。(教育学区が後見人となる場合もあります。)

■ 緊急時支援

突発的な事故、疾病や怪我、その他、緊急性を伴う事態が発生した際の支援サービスです。生徒やホスト、学校、または関係者からの緊急連絡を受け、状況確認をした上で直ちに保護者にご連絡致します。状況に応じてホスト、学校、友人、また病院等の関係諸機関に連絡・確認を取りながら事態の適切な対処・対応にあたります。



保護者様にも安心のサポート

留學には、保護者様のご理解とご協力が最も重要です。保護者様にお子様の現地での様子をお伝えし、安心して見守っていただくことは、留學を支援するJAACの役割のひとつであると考えます。日本の入学事務局と現地カウンセラーとの連絡を密にし、双方からサポートしておりますので、ご心配な点があれば、日本・現地どちらの事務局にも、お気軽にご質問・ご相談下さい。

■ マンスリーレポート

学校でのこと、日常生活の様子、健康状態等、お子様の状況を報告する現地カウンセラーレポート(マンスリーレポート)を月1回送付致します。

■ 成績表和訳

各学期に2回、学校からの成績表を和訳し、報告致します。

■ 保護者様対象電話・Eメールでのご相談

現地カウンセラー、または日本のJAAC入学事務局では、随時、保護者様からのご質問やご相談にお応え致します。

受入学区概要 トロント学区公立28校（9月出発）

トロント学区は、カナダでは一番規模の大きな学区で、小学校～高校の生徒数は260,000名に上っています。トロント学区には471の小学校があり、高校（セカンダリースクール）は113校もの学校があります。その中で主にESL（語学プログラム）が充実した26校の高校で留学生の受入れを行っています。トロントは世界各国からの人々が暮らす多文化社会と言われており、カナダ人生徒の67%の保護者は他国からの移民というバックグラウンドを持っています。そのような環境である為、国際色豊かな学区として知られおり、留学生にとっては高校に溶け込みやすい環境と言えますし、留学生に対するサポートも充実しています。また、トロント学区は進学率が高く、80%以上がカレッジや大学へ進学しています。



トロント学区の特徴

カナダ最大、国際色豊かでエキサイティングな都市！

- ・カナダ最大規模の高校留学生受入プログラム、世界各国からの留学生が集っています。
- ・高い教育水準を誇り、犯罪率のとても低い都市です。
- ・留学生の為の語学プログラム(ESL)が充実しています。
- ・地下鉄・ストリートカー(路面電車)・バスなど公共交通が整っていて大変便利です



学校紹介 代表的なホスト校

Birchmount Park Collegiate Institute バーチマウント・パーク・カレッジイト・インスティチュート

主要教科と実技教科において幅広いコースとレベルの授業を実施しています。また、トロント学区の中でもスポーツプログラムとアートプログラムに力を入れている事で有名です。スペシャルプログラムとして運動系、音楽、舞台演劇、ビジュアルアーツ、芸術、環境問題とテクノロジーなどが実施されており、スポーツアクティビティ内容も豊富です。

- 生徒数/約1,000名
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期/9月
- 滞在方法/ホームステイ

周辺環境

トロント中心地から東へ約15キロ、オンタリオ湖の畔の落ち着いた住宅街に位置しています。キャンパス内には大変立派な陸上競技上とスタジアムがあり、市民プールとアイススケートリンクが隣接しています。



Georges Vanier Secondary School ジョージ・バニエ・セカンダリー・スクール

先進的な教育を進めている学校で、STEM+、数学・化学のスペシャルコース、ハイスキルプログラム（航空宇宙学、アート&カルチャー、ICT）などを実施しています。課外活動においては、アート委員会、音楽活動、ラジオ・フォトグラフィクラブなどの文化系のクラブ、バレーボールやサッカー、バスケットボールなどのス

- 生徒数/約800名
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期/9月
- 滞在方法/ホームステイ

ポーツクラブなど多彩な活動に参加する機会を提供しています。

周辺環境

トロント中心地から北に約20キロ、ノースヨーク地区に所在しています。ノースヨークはトロントの北部中央の半分を占め、人口およそ65万人が暮らす住宅街です。学校の近くには大規模なショッピングセンターがすぐそばにあります。

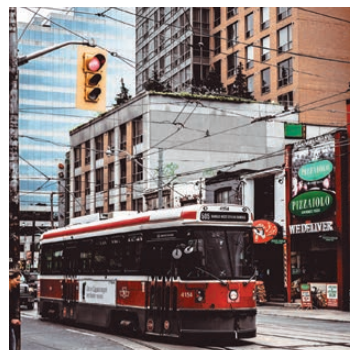


受入学区概要 ヨーク・リージョン学区公立19校（9月出発）

ヨーク・リージョンはトロントの北に位置する地方行政区のひとつで、人口約100万人、州内の地方行政区では最も高い成長率を見せており、2020年には人口150万人まで増えると予想されている、活気のある地区です。地域の南部には工業からハイテク産業まで幅広い産業が普及しており、北部には広大な湿地と農場が残っています。この土地を利用して住宅地の開発が進められています。

ヨーク・リージョン学区はオンタリオ州で3番目に大きな規模の学区で、教育においてはオンタリオ州内トップレベルのランキングを誇ります。卒業、1年間留学、夏の短期プログラムなど世界各国から留学生が集まっており、学区の留学生プログラム、各学校の留学生担当者がサポートを提供しています。

ヨーク・リージョン学区では毎年夏に学区内の教師を海外に派遣するSummer Teach Abroadというプログラムを毎年実施しており、教師が海外での教授体験を通し異文化を理解する取り組みが行われています。



ヨーク・リージョン学区の特徴

大都市近郊の落ち着いた環境で学ぶ

- ・大都市近郊の落ち着いた環境で留学生活を送る事ができます。
- ・週末や休暇にはトロントに気軽に訪問出来る距離にあります。
- ・教育水準が高く、留学生の受入れ体制も整っています。

学校紹介 代表的なホスト校

Aurora High School

オーロラハイスクール

1972年に設立された公立高校で地域コミュニティに密着した教育を実践しています。学生数は約1100名、フランス語で授業を行うイマージョンプログラムには400名の生徒が在籍しています。学生のニーズに沿った教育を行っており、大学進学を目指す生徒への進学指導、キャリアに直結した実技教科など様々な授業とプログラムが行われています。

校内にはコンピューターラボ、フィットネスセンター、アートスタジオなど様々な施設が備

- 生徒数/約1,100名
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期/9月
- 滞在方法/ホームステイ

わっています。また屋外には陸上トラック、スタジアム、ビーチボールコートなどの施設があります。部活動も盛んでバスケットボール、サッカー、バレーボール、ゴルフ、スキー、スノーボード、ラクロス、マウンテンバイクなど、シーズンごとに様々な活動が行われています。

周辺環境

閑静な住宅地区の中に所在しています。学校の東側にはゴルフ場や農場など自然豊かな環境が広がっています。



Malpel High School

メイプルハイスクール

メイプルハイスクールは人口の増加するコミュニティのニーズに対応するために2001年に設立された比較的新しい高校です。現在の学生数は1250名が在籍しており、学校の教師・スタッフは約100名体制で運営されています。多様なコミュニティの中で異文化を理解し国際的な視野を広げ地域社会に貢

- 生徒数/約0000名
- 男女共学
- 学期/2学期制
- 留学時期/9月
- 滞在方法/ホームステイ

献する人材の育成を学校のモットーに掲げています。留学生に理解の深い学校と言えます。

周辺環境

緑が美しい新興住宅地に学校は所在しています。町の南側はビジネスエリアが広がっており大きなショッピングモールもあります。また町の西側にはカナダズ・ワンダーランドという名前のアミューズメントパークもあります。





日本人の専任カウンセラーによる オンタリオ州現地指導・支援サポート

州都トロント市内には日本人の専任カウンセラーが常駐し、安全で安心な留学生活が送れる様、参加生の皆さんを現地でサポートする体制を整えています。留学生活の中では、ご家族と離れて生活する寂しさ、言葉の壁、文化・慣習の違いなどから悩みや問題も生じます。トロント近隣の学区に留学する生徒には定期的に学校・ホスト宅を訪問してカウンセリングを、遠方の学区に留学する生徒には電話・Eメールで連絡をとり、困っていることはないか、また生活に問題はないか…参加生の皆さんの学業・生活の状況を確認し、適切なアドバイスを行います。また緊急時には現地に赴き、問題解決にあたるなど、万全な体制で留学生生活をサポート致します。

現地オリエンテーション

カナダでの生活を始める上で必要な事柄の説明や、情報提供を行います。

定期カウンセリングによる状況確認と学業・生活アドバイス

定期的に学校・ホスト宅を訪問、或いは電話・Eメールにてカウンセリングを行います。カウンセリングでは、生徒の生活状況を確認すると共に、学校での学業への取り組み方、ホスト宅での過ごし方等、アドバイスを行います。

電話・Eメールでの学業・生活相談(随時)

留学生活の中で直面する疑問・悩み・戸惑いなど、いつでも電話・Eメールで現地カウンセラーにご相談下さい。問題を未然に防いだり、早期に解決するようサポート致します。

医療相談・支援

随時、心身の健康面についての相談に応じながら、必要に応じて専門医や病院を紹介し、適切な医療が受けられるよう支援致します。

留学保険の保険金請求アシスト

留学保険を利用する際、日本の入学事務局、または現地カウンセラーが保険会社との連絡を行い、必要な事務処理等及び手続きについてのご案内と、対処・対応についてのご相談に応じます。

現地後見人(ガーディアン)サービス

高校留学では、生徒が未成年であり、保護者がカナダにいないことから現地における後見人が必要です。保護者様とご相談・合意の下に、現地カウンセラーが現地後見人としての役割を担います。(教育学区が後見人となる場合もあります。)

緊急時支援

突発的な事故、疾病や怪我、その他、緊急性を伴う事態が発生した際の支援サービスです。生徒やホスト、学校、または関係者からの緊急連絡を受け、状況確認をした上で直ちに保護者にご連絡致します。状況に応じてホスト、学校、友人、また病院等の関係諸機関に連絡・確認を取りながら事態の適切な対処・対応にあたります。



保護者様にも安心のサポート

留学には、保護者様のご理解とご協力が最も重要です。保護者様にお子様の現地での様子をお伝えし、安心して見守っていただくことは、留学を支援するJAACの役割のひとつであると考えます。日本の入学事務局と現地カウンセラーとの連絡を密にし、双方からサポートしておりますので、ご心配な点があれば、日本・現地どちらの事務局にも、お気軽にご質問・ご相談下さい。

留学状況レポート

学校でのこと、日常生活の様子、健康状態等、お子様の状況を報告する現地カウンセラーレポートを送付致します。

成績表和訳

各学期に2回、学校からの成績表を和訳し、報告致します。

保護者様対象電話・Eメールでのご相談

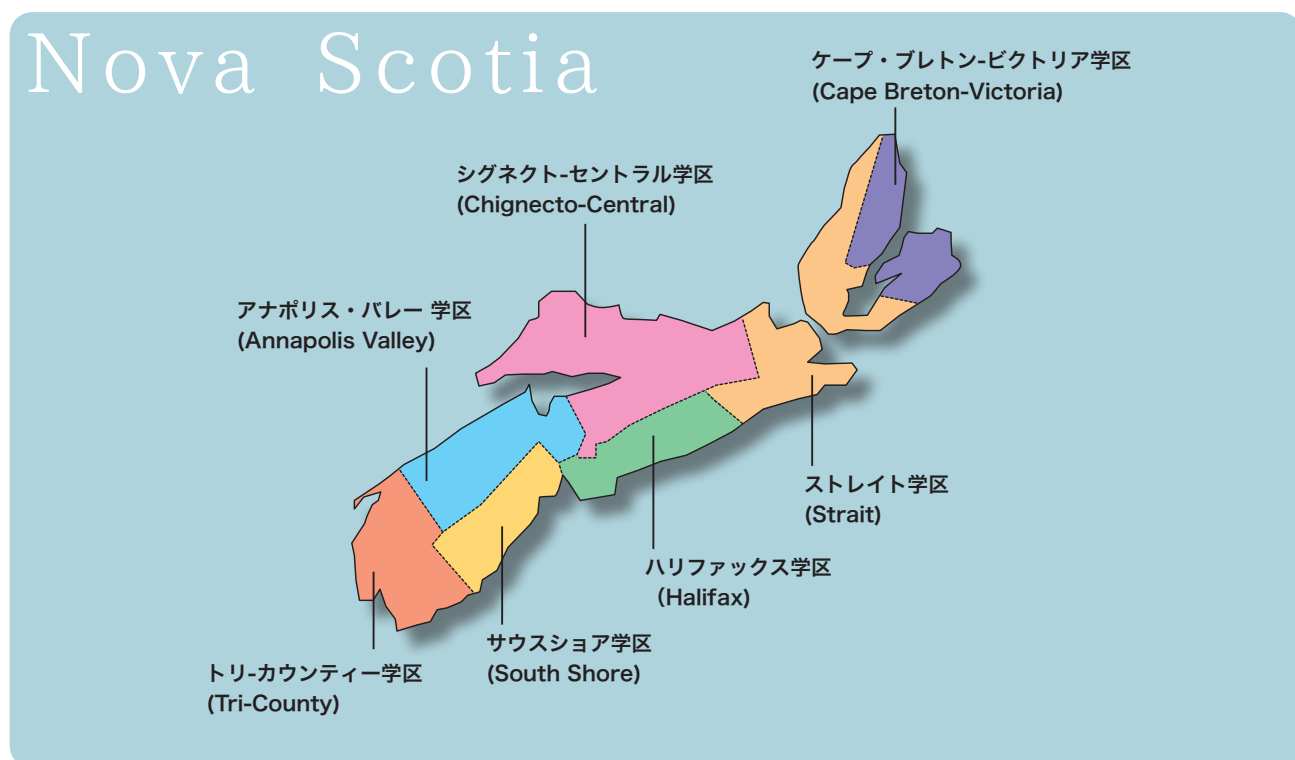
現地カウンセラー、または日本のJAAC入学事務局では、随時、保護者様からのご質問やご相談にお応え致します。

受入学区概要 ノバスコシア州（4月・9月出発）

ノバスコシア州の教育省が運営する「ノバスコシア州・国際留学生プログラム」(Nova Scotia International Student Program 通称: NSISP)は、1997年より留学生を対象とした良質な受入れプログラムと留学生に対する教育を提供しており、留学生を積極的に受け入れる環境が整っています。

州内には7つの学区があり85の中学、高校で、12歳から18歳までの世界中からの留学生を受け入れています。各学区には留学生担当のカウンセラー、並びに各地域にホームスティコーディネーターが配置されており、留学生のサポートをおこなっています。州の教育省がプログラムを運営している為、州内のどの学校に配属されるかを原則選ぶことはできませんが、願書の内容に基づき、学生に適した学校とホストファミリーを選びます。

ノバスコシア州国際留学生プログラム 学区地図



「行動」することで自分の成長を実感！

プログラム参加生 林 美里さん

留学期間：2017年4月～2018年2月 派遣先：カナダ プリティッシュコロンビア州 ケロウナ学区 受入先高校：Okanagan Mission Secondary

私は留学に行っても本当に良かったと思います。留学前、私はとても留学をしてみたいという気持ちはあったけれど、私の1年生の時の友達がほとんどいないから、学年が1つ下になってしまうからなど、本当にちっぽけなことによって、留学に行くことに少し迷いがありました。しかしこの1年間の留学を通してそのような悔いを1ミリも感じさせないくらい大きな物を得ることができました。

私は、自分の気持ちを伝えることがとても苦手でした。留学当初、あるクラスでお菓



子パーティーをひらくことになり、一人一人お菓子を少しずつ持っていかなければならない時がありました。でも私はホストマザーにそれを伝えることができず、結局、そのパーティーの前日の夜にホストマザーに伝えることになり、「もう少し早く行ってくれば、準備することができたよ」と注意されました。それによって、やっぱり自分から聞いて行動しないと何も変わらないし、結果自分が困るということに気づきました。それから、どのクラスを取るのが自分のためになるのかホストファミリーや先生にアドバイスをもらいにいたり、ジャズバン



ドクラブに入りたかったので先生を探して情報をたくさん聞きにいたり、授業で分からないことがあったら、先生や友達に質問しにいたりなど、とにかく動いて動いて「行動」しました。自分で行動することによって友達もできたし、先生とも仲良くなることができました。また、それによってどのクラスもとても楽しく、後悔することもなく、自分のしたいことができました。1年という長いようで短い留学生生活を意味あるものにしたいという気持ちはだれにでもあると思います。自分が少しの恥ずかしさや怖さを振り切って、積極的に行動するだけでこんなにも得るものが違うんだなと思ったし、自分を変えたいという強い思いは自分でなんとかするしかないし、それを乗り越えることによって大きく成長できるんだなと実感しました。



留学先で「社交的で積極的」な自分になる！

プログラム参加生 谷口遥香さん

留学期間：2016年4月～2017年2月 派遣先：カナダ プリティッシュコロンビア州 ビクトリア学区 受入先高校：Victoria High school

今回の留学で、私はたくさんものを得ました。

留学当初は英語で会話することに慣れておらず、自分が想像していたものと違って、カナダに留学したことを少し後悔していました。あまり社交的じゃないこともあり、学校で外国の友達を作るのにすごく苦労していて、最初の頃は英語より日本語を話すことが多いという最悪の状態でした。そんなとき一人の中国人の子が私に話しかけてくれて少し仲良くすることができました。その後、少し勇気を出してその子をフェスティバルに誘ったらOKしてくれて、初めて学校で中の良い友達ができました。

私のホストファミリーはすごく親切で面白く話しやすかったので、ホームシックの心配はありませんでした。ブラジルのルームメイトがいたので一緒に買い物へ行ったりテレビを

見たりしました。

夏休み中はサマースクールに通いました。このサマースクールが、私の留学生生活を助けてくれたと思います。学校内では英語以外の言語を話すことが禁止されていたので、英語で会話することに慣れました。そのおかげで、9月からの学校生活はとても充実していました。英語を話すことに自信を持ち、自分から生徒に話しかけたりランチに誘ったりして、たくさんの友達を作りました。さらにクラブにも参加して、カナダ人の友達もたくさんできました。一番仲良かったのはチリ人の友だちで、一緒に色々なイベントへ行きました。お互いに自分の言語を教え合ったりもして、将来勉強したい言語にスペイン語が加わるほど楽しい時間を過ごしました。夏休み前に仲良くしていた中国人の友達は他の学校に行ってしまうりましたが、たまに会って遊びました。中国のお正月の時期にはその子の家族にディナーに招待され、とても良い経験をしました。ホストファミリーとも、クリスマスやアイスホッケーの試合、Gold Streamなどずばらしい時間を過ごしました。ディナーの後にルームメイトたちやホストマザーのいとこと一緒に色々な話で盛り上がりたりもしました。



今回の留学で得たものは、もちろん英語力ですが、友達、勇気など他のものもたくさん得ました。沢山の国の文化を知ることができてとても良かったです。“留学しているから日本人とは関わりたくない”という意見の人もいますが、私は愛知や三重以外の日本人の友達がたくさんできて嬉しかったです。ホームシックにはならなかったのはホームスティだけでなく、日本人とも話をしてリラックスしたりアドバイスをもらったりしたことも影響していると私は思います。英語で会話することになれ、社交的になり、いろいろな文化を学び経験し、世界や日本全国の友達がたくさんできて、今ではカナダに来たことを後悔していた初めての自分が信じられません。この留学を無駄なものにしないよう、これからも英語をできるだけ口にしたり耳に入れたりして、社交的に、積極的な人のまま生きていきたいです。



カナダ高校留学をお考えの皆様へ

生徒並び、に保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。JAACカナダ高校留学の現地カウンセラーをしております佐久間よりご挨拶申し上げます。

1992年、カナダブリティッシュ・コロンビア州ビクトリア市教育省の働きで、若者の文化交流の目的からビクトリア地区公立高校における留学生受入制度が創設されました。私は、その翌年1994年よりJAAC高校留学プログラム現地カウンセラーとして、プログラム参加生の皆さんの指導・支援をさせていただいております。

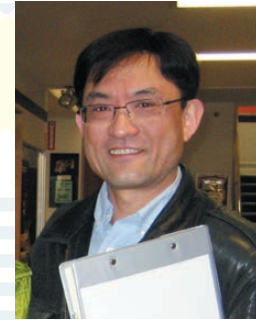
ここビクトリアをはじめとするカナダ西海岸地域は、花と緑溢れる風光明媚な観光地として知られており、世界各国から多くの人々が訪れます。気候も温暖で、治安も良く、人々も優しい為、留学生にとっては過ごしやすく最適な環境と言えるでしょう。学業面においても、必修科目の他に多くの選択科目があり、個々の興味や得意分野にあわせて履修科目を選択するなど、個性を伸ばす柔軟な教育制度が用意されています。また、現在中南米、ヨーロッパ、アジアなど世界各国から多くの高校留学生が州内で学んでおり、たくさんの国の人達と交流し、様々な文化・価値観を学ぶことができます。

私は、以前ビクトリア日本人会会長をしていたことから、日本領事館の方々と活動させていただき機会が多かったのですが、その際、領事館の方から「日本政府としても留学を推進している。高校・大学生の内に日本を一度は離れ、外から日本という国を見る必要がある。」というお話を何度か伺い、JAACの行う日本人留学生に対する指導支援業務に対して高い評価をいただきました。

皆さん留学開始当初は、言語・文化の違いに多少の戸惑いもありますが、学校の友達やホストと積極的にコミュニケーションをとったり、クラブ活動に参加するなど、高校留学を十分に楽しみ、実りあるものにするため何事にも意欲的に取り組んでいます。

参加生の皆さんが留学を通して少しずつ言動・考え方が変化し、たくましくご成長されていく姿を拝見し、また、ご帰国後夢を実現されたり、ご活躍されているというご連絡をいただき、未来を担う皆さんの何ものにも代え難い貴重な体験のお手伝いをさせていただいていることに大きな喜びを感じながら指導支援をしております。

高校留学をお考えの皆さんが、是非このJAACカナダ高校留学プログラムにご参加いただき、素晴らしい経験をされますことを心より祈っております。



佐久間 重雄

JAACカナダ公立高校留学プログラム現地カウンセラー
カナダ・ビクトリア日本人会
前会長



オーストラリア留学

AUSTRALIA



南オーストラリア州公立高校

1年間プログラム・卒業プログラム/出発 1月・4月・7月・10月

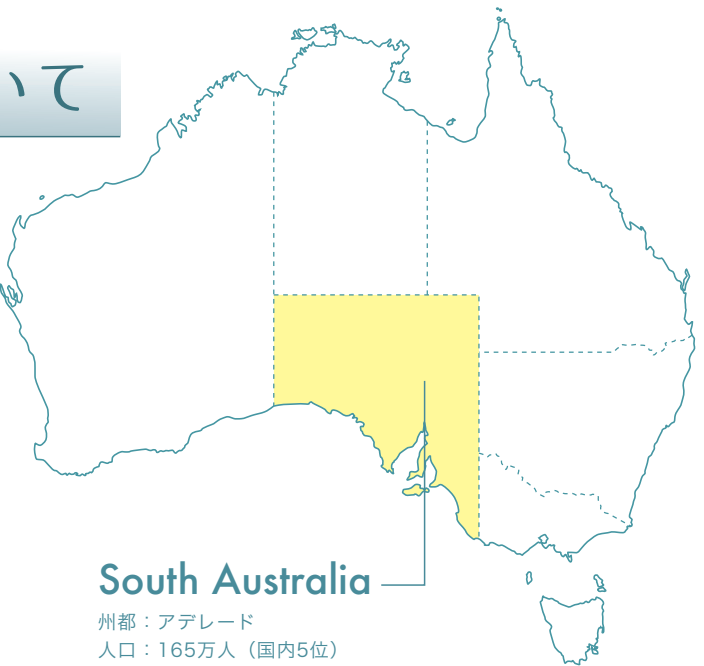


南オーストラリアについて

南オーストラリア州はオーストラリア大陸の中央南部に位置しています。人口は約165万人でオーストラリア国内の州および準州では5番目、人口の大多数は、州都のアデレードと、南東海岸部やマレー川に沿った肥沃な地域に分布しています。歴史的に見ると、オーストラリアのほとんどの州と都市はもともと流刑地でしたが、南オーストラリア州はイギリス人の自由入植地として発展しました。

州都であるアデレードは、親しみやすい歓迎的な雰囲気、洗練された都市です。オーストラリアで最も住みやすい都市に選ばれており、世界で最も住みやすい都市のトップ10に何度もランクされています。

気候は地中海性気候によく似た気候で日本ほど寒さや暑さが厳しくなく、雨が降る時期も少ないため、比較的過ごしやすい地域です。南オーストラリア州では、年間を通して400以上ものフェスティバルが開かれ、フードフェスティバルやアートフェスティバルが大々的に行われます。オーストラリアワインの最大の産地であるハンターバレーや野生動物であふれるカンガルー島、オパール最大の産地であるクーパーピディなどが有名です。南オーストラリア州は、季節に関わらず、1年を通じてアクティブなライフスタイルを満喫できる場所です。留学先としては理想的な場所と言えます。



South Australia

州都：アデレード
人口：165万人（国内5位）
面積：1,043,514km²（国内4位）
主要空港：アデレード空港
（飛行機で約15時間）

オーストラリアの教育制度について

大学を除く各教育機関は、各州政府の教育省が管轄しています。

初等、中等教育は基本的に12年間で、学年制はYear 1からYear 12で、Year 6もしくはYear 7までが初等教育、Year 7もしくはYear 8からが中等教育となっています。中等教育は、前期の3～4年間 (Year 10まで) Junior Secondary、後期の2年間 Senior Secondaryに分かれています。尚、Year 9までが義務教育期間ですが、ほとんどの生徒がSenior Secondaryに進学しています。Year 12修了前には各州の統一試験が行われ、その結果に応じて大学などの高等教育機関に進学します。JAACオーストラリア公立高校留学制度を実施する南オーストラリア州では統一試験が実施されており、大学進学を希望する生徒は受験が義務付けられています。

高等教育においては、総合大学、公立の職業訓練機関であるTAFE (Technical and Further Education)に大別されていて、そのほとんどが公立(国立または州立)です。これらの高等教育機関では、学位の他にCertificateやDiplomaといったさまざまな資格が取得出来ます。また、それらの学位・資格はAQF(Australian Qualifications Framework)という制度によって、すべての教育機関で認定されています。

アカデミックな分野から実践的な分野まで非常に幅広く、フレキシブルな教育制度が実施されているのがオーストラリアの教育制度の特徴と言えます。

高校教育について

オーストラリアの高校は4学期制をとっており、1月末もしくは2月初めに新学期が始まり、同年の11月下旬に1学年が終わります。

1学期が1月末から4月上旬、2学期が4月下旬から7月上旬、3学期が7月中旬から9月下旬、4学期が10月上旬から11月下旬と分かれており、各学期の合間に2週間程度の休みがあります。

卒業・1年間プログラム共に、新学期のスタートに合わせて出発が一般的ですが、1年間プログラムの生徒で、日本の高校を休学する場合(単位認定を受けない場合)には、2学期が始まる4月出発も可能です。

学校形態は公立高校と私立高校があり、全体の約7割が公立高校です。

公立高校の教育水準の高さには定評があります。また公立高校の中には個性・特色を打ち出している学校が多く、美術・芸術系の分野に力を入れている学校が多いのも、オーストラリアの公立高校の特徴です。



プログラム概要

南オーストラリア州政府教育省は1989年以来、留学生受入れプログラムを実施しています。アデレード市内及びその近郊、南オーストラリア州の地方に所在する140校の統括とプログラム運営を行っています。

JAACでは、アデレード市内・近郊の32校を選定し、受入れ校としています。プログラムは南オーストラリア州政府教育省の留学生受入オフィス(International Education Services)により運営されています。南オーストラリア州政府教育省の留学生受入オフィスには留学全般の相談や質問に対応するカウンセラー、ホームステイを統括するホームステイコーディネーターが配置されており、留学生のサポートを行います。JAACは南オーストラリア州政府教育省の留学生受入オフィスと情報を共有し、留学中の相談や問題に対応します。

オーストラリアの公立高校は住んでいる地域で学区が分かれていますので、生徒は居住学区内の学校に通います。したがって、本プログラム参加生も、ホスト宅近隣の高校に入学します。アデレードの中心地にある生徒が多い学校もあれば、郊外の落ち着いた環境にある中規模校もあります。いずれの学校も南オーストラリア州政府教育省が管轄しており、質の高い教育を提供しています。

プログラムの特徴

学校

- ・ 専門科目、プログラムおよび課外活動
- ・ さまざまな種類の専門教育資料と施設
- ・ スポーツや学校の活動に適した広大なスペースと自然

環境

- ・ サポートと支援を提供するために、各学校に留学生プログラムマネージャーを配置
- ・ 学校に慣れるための手助けをする地元のスクールバディ プログラム
- ・ オーストラリアの他の州と比較して安価な授業料
- ・ Department for Education and Child Development(教育省)によるプログラム運営
- ・ 親身に世話をするホストファミリーの手配
- ・ ホストファミリーの選抜、認可、および監督
- ・ すべての教育エージェントの認可と監視
- ・ 留学プログラムに集中英語とサポートが含まれる



サポート

- ・ 自国を出発する前に役立つ、出発前ガイドの提供
- ・ 健康と安全、学校とホームステイで期待されること、ビザの条件、お金の管理などを含む、オリエンテーションプログラム
- ・ 留学中の相談・対応
- ・ 学業進歩に関する報告書
- ・ 進学に関するカウンセリング
- ・ 24時間緊急電話サービス



Aberfoyle Park High School

アバーフォイル・パークハイスクール

アデレード市中心から南に24キロの位置にあります。公共交通機関から近く、公園、ショッピングセンターも近くにあり。留学生には人気の高校です。音楽、ダンス、演劇、ビジュアルアート、デザインなどのプログラムと、テクノロジーのプログラムにおいて有名な学校です。テニス、サーフィン、バスケットなどのスポーツ活動が盛んです。

- 生徒数/約1,100名
- 男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/ホームステイ
- 日本語、スペイン語授業あり
- ESL授業あり



Adelaide High School

アデレードハイスクール

南オーストラリアで最も歴史が古い高校で、アデレード市の中心に位置する学校です。言語、国際学、STEMの各教育の水準が高いことで知られています。スポーツは特にクリケットとボート競技が盛んですが、陸上、サッカー、水泳でも有名な学校です。その他、ジャズ、コンサート、オーケストラの各バンド、コーラス、弁論、演劇などのクラブ活動が活発です。

- 生徒数/約1,310名
- 男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/ホームステイ
- 日本語、中国語授業あり
- ESL授業あり



Henley High School

ヘンリーハイスクール

ビーチまで1キロ以内の距離に位置しています。空港からのアクセスも良く、街の中心までは8キロ程の距離です。サッカー、テニス、バスケットなどが盛んです。テニスコート、ゴルフコースなどの運動施設が充実しています。また、音楽、ダンスのスタジオがあるアートセンター、ビジュアルアートやメディアを学べる施設、木・鉄の加工や電気などのワークショップが開かれる施設など、各施設の充実度が高いことでも知られています。

- 生徒数/約1,300名
- 男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/ホームステイ
- 日本語、ドイツ語授業あり
- ESL授業あり



Heathfield High School

ヒースフィールドハイスクール

アデレード中心から20分程の山や丘に囲まれた自然豊かな場所にあります。スポーツ、アウトドア、パフォーミングアートの教育に力を入れています。また科学、数学、テクノロジーの各プログラムも充実しています。特にテクノロジーのプログラムはハイレベルクラスが実施されています。バレーボールの活動が盛んで、オーストラリアで最も強いチームの1つとされています。

- 生徒数/約900名
- 男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/ホームステイ
- フランス語、インドネシア語あり、
日本語授業一部学年のみ
- ESL授業あり



Brighton Secondary School

ブライトンセカンダリースクール

アデレード市の西、人気のシーサイドに位置する高校です。近隣には人気のある商業施設があり、買い物には困りません。公共交通機関の便が良い場所です。国内では有数の音楽が盛んな学校として知られています。オーケストラ、コーラス、各バンドなどの活動が充実しています。

- 生徒数/約1,550名
- 男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/ホームステイ
- 日本語、フランス語授業あり
- ESL授業あり



Underdale High School

アンダーデイルハイスクール

市街地からは西に5キロ、空港からは2キロ、ビーチからは10キロの位置にあり、生活に便利なロケーションに位置しています。校内には弁論やプレゼンテーションのスキル向上を勉強するグループ、環境を考える活動をするグループ、アウトドアやアドベンチャーの技術を習うグループなど、課外活動が充実しています。

- 生徒数/約650名
- 男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/ホームステイ
- フランス語、ギリシャ語それぞれ一部の学年のみ
- ESL授業あり



ニュージーランド留学

NEW ZEALAND



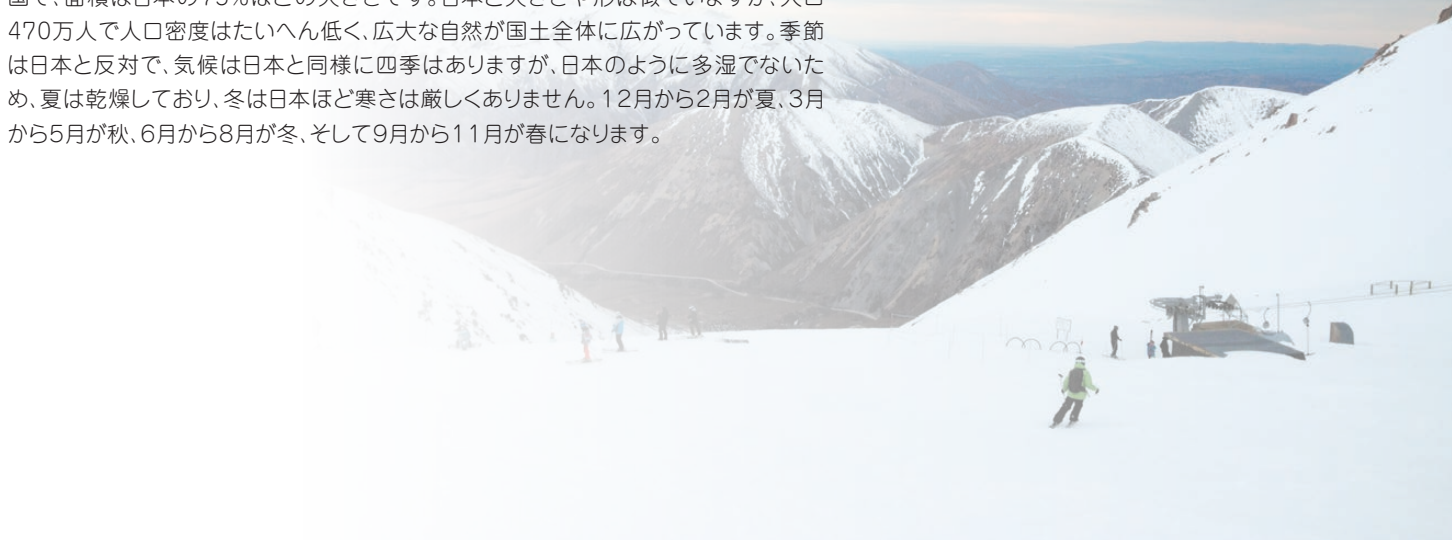
クライストチャーチ/オークランド 公立・私立高校

1年間プログラム・卒業プログラム/出発 1月・4月・7月・10月



ニュージーランドについて

ニュージーランドは南北にある2つの主要な島と周辺の多くの小さな島々で成る島国で、面積は日本の75%ほどの大きさです。日本と大きさや形は似ていますが、人口470万人で人口密度はたいへん低く、広大な自然が国土全体に広がっています。季節は日本と反対で、気候は日本と同様に四季はありますが、日本のように多湿でないため、夏は乾燥しており、冬は日本ほど寒さは厳しくありません。12月から2月が夏、3月から5月が秋、6月から8月が冬、そして9月から11月が春になります。



オークランドについて

北島に位置するオークランドは150万人を超える国内最大の都市で、ニュージーランド系白人、マオリ系、ヨーロッパ系移民、中国、韓国、インド、東南アジアからの移民など様々な文化背景を持つ人種が住む多文化都市です。また、毎年のように世界で最も住みやすい都市ランキングの上位にランキングされ、近代的で活気に満ち溢れ、温暖な気候、美しい景色、フレンドリーな人々がいることで留学の人気都市となっております。また、経済と教育の中心地でもあり、多くの高校、語学学校、専門学校、ニュージーランドにある8つの大学のうちの3つがオークランドにあり、諸外国との窓口になっています。

Auckland

人口：約150万人
主要空港：オークランド
(成田空港から直行便で約11時間)

Christchurch

人口：約40万人
主要空港：クライストチャーチ
(成田空港から約14.5時間)

クライストチャーチについて

南島に位置するクライストチャーチは人口約40万人、南島の文化、経済の中心地です。市内を出れば大きな自然が広がり、各種のサマースポーツやウィンタースポーツも盛んです。クライストチャーチとその周辺には留学生を受け入れている多くの高校があります。高校は公立の共学校、男子校、女子高、私立高校があり、学業に重点を置いている学校、ラグビーを代表とする各種スポーツで有名な学校、比較的のんびりとした雰囲気の高校など、生徒の希望に合わせた学校選択が可能です。

NEW ZEALAND

首都：ウェリントン
人口：約470万人



Long Bay College

ロングベイカレッジ高校

留学生向けの英語プログラムは市内で最も充実しています。幅広い履修科目の選択が出来ます。市内でトップレベルの学力の学校で、多くの学生が大学進学をします。特にグラフィックデザインの授業は高いレベルです。ラグビー、バスケットボール、ウォーターポロ、陸上競技等が行われ、ジムやテニスコート、室内ロッククライミングなどの施設があります。ダンスや演劇、ミュージック、写真等の活動チャンスがあり、また、オーケストラ、ピアノ5重奏団、ジャズバンド等のグループが活動を行っています。

- 生徒数/約1,750名
- 留学生数/約140名
- 公立・男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/ホームステイ
- ESL授業あり

周辺環境

ロングベイカレッジは、オークランドシティから車で25分ほど北上したノースショアのロングベイという自然豊かな高級住宅街に位置しています。ビーチや公園などが近くなり、海水浴やトレッキングなどのアウトドア活動が楽しめます。



St Mary's College

セントメアリーズカレッジ

1850年に創立されたニュージーランドでも最も古い女子校で豊かな文化を維持しています。特色は、生徒同士がお互いに温かく敬意と思いやりをもって接することをモットーとしているところです。学校は小規模のカソリック系の学校で、学力は高く、教師や現地の学生はフレンドリーでアットホームな雰囲気にあふれています。ターム留学生に対しましてはバディーと呼ばれる世話役が付き学校内でのケアをしてもらえます。入学時にレベルテストが設けられ、結果によりESOLのクラスが決定されます。

- 生徒数/約1,000名
- 留学生数/約35名
- インテグレイテッド・女子校
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/ホームステイ
- ESL授業あり

周辺環境

オークランドのシティから徒歩20分ほどの閑静な住宅街の高台に位置し、治安もよく、学校からはワイテマタハーバーを見下ろすことができます。学校周辺はボンソンピーと呼ばれる、高級な住宅エリアとなっています。シティまでも徒歩圏内で、交通アクセスも抜群です。



Mt Albert Grammer School

マウントアルバートグラマースクール

1922年に設立された歴史ある学校で、多くの著名人やスポーツ選手を輩出しています。男子生徒のみになりますが、空きがあれば留学生でも寮生活をする事が可能です。英語力の低い学生に対しては集中英語コースがあります。また、ラグビーの授業や農業や畜産の道へ進みたい学生の為のコースもあり、学校にはファームが併設されています。

- 生徒数/約2,700名
- 留学生数/約110名
- 公立・男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/ホームステイ・
学生寮(男子のみ)
- ESL授業あり

周辺環境

マウントアルバートグラマースクールは、オークランド中心街からバスで15分ほどのところにある、昔ながらの閑静な住宅エリアに位置します。周りにはショッピングセンターやスポーツセンター、スイミングプール、ラグビースタジアムなどもあり、交通の便も非常に便利です。



Takapuna Grammer School

タカプナグラマースクール

学校はタカプナの町から車で5分ほどのベルモントエリアに位置、校内からはランギトト島が見渡せ、裏手には美しい海岸が広がります。学校周辺にはノースショア最大の町タカプナ、海辺の高級住宅地デボンポートがあり、オークランドの中でも最も閑静な住宅エリアのうちのひとつで、治安もオークランドではトップクラスのいい地域です。

- 生徒数/約1,600名
- 留学生数/約160名
- 公立・男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/ホームステイ
- ESL授業あり

周辺環境

国内ではトップレベルで、多くの学生が大学に進んでいます。バカロレアプログラムがあり、留学生でも成績優秀であれば受講することができます。(その場合、中学校からの留学をお勧めします)ラグビーやサッカー、ダンスや音楽活動など一年を通して様々なスポーツや文化活動を楽しむことができます。入学時には、英語力が必要とされます。



Cashmere High School

カシミア高校

カシミアヒルという高級住宅街のある丘のふもとにある、地元でも有名な高校です。バスケット、サッカー、バレーボールなどのスポーツも盛んです。



- 生徒数/1,450名
- 留学生数/20名
- 公立・男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/
ホームステイ
- ESL授業あり

Papanui High School

パパヌイ高校

1936年設立の学校です。国際交流が盛んで、欧州、南米からの留学生も比較的多い学校です。留学生向け英語授業(ESL授業)も確立されており、まだ英語に不安がある生徒さんでも安心して通う事ができます。



- 生徒数/1,550名
- 留学生数/15名
- 公立・男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/
ホームステイ
- ESL授業あり

St Thomas of Canterbury College

セントトーマス カレッジ

カソリックの小規模学校です。Year7～13(11歳～18歳)の一貫教育を行っています。小規模校だけに先生たちの目の行き届く範囲が広く、きめ細かい学習指導が受けられるのも特徴です。ラグビープログラムもありスポーツも盛んです。ヤングエンタープライズプログラムは全国トップクラスです。



- 生徒数/550名
- 留学生数/5名
- インテグレイテッド
男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/
ホームステイ
- ESL授業あり

Villa Maria College

ヴィラ マリア カレッジ

カソリックの名門女子校です。Year7～13(11歳～18歳)の一貫教育を行っています。学業も非常に優秀な学校ですが、音楽教育でも有名で、過去に様々な賞を受賞しています。



- 生徒数/750名
- 留学生数/4名
- インテグレイテッド
女子校
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/
ホームステイ
- ESL授業あり

Middleton Grange International College

ミドルトン カレッジ

Year1～13(小中高一貫)の学校です。留学生の受け入れ経験も豊富です。留学生部署も独立しており、生徒さんのケアには力を入れています。アカデミック面でも非常に優秀です。



- 生徒数/1,540名
- 留学生数/16名(高校部門)
- インテグレイテッド
男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/
ホームステイ
- ESL授業/類似英語クラスあり

St Andrew's College

セント アンドリュース カレッジ

幼稚舎から高校まで、の一貫教育を行っている有名私立校です。学内に寮も保有しています。スイミングではオリンピック候補者を輩出、ゴルフでは高校世界大会で2位になった実績もあります。個別指導なども実施しており、学習のケアは私立ならではのです。



- 生徒数/940名
- 留学生数/0名(高校部門)
- 私立・男女共学
- 学期/4学期制
- 入学時期/
1年間プログラム、
卒業プログラム
1月、4月、7月、10月
- 滞在方法/
ホームステイ・寮
- ESL授業あり



日本人の専任カウンセラーによる現地指導・支援サポート

ニュージーランド留学プログラムの現地・支援サポートは、JAACが提携するオークランド市内及びクライストチャーチ市内の現地高校留学支援機関が担当します。JAAC日本事務局でも参加生の状況を把握できるよう、現地と連絡を密にし、JAAC日本事務局と現地支援機関とが連携しながらサポートを行います。

■ 現地オリエンテーション

空港での出迎え、その後一般情報、治安、公共交通機関、ホームステイでの注意点、オリエンテーションを実施します。

■ 当校初日、学校開始準備のアシスト

学校初日はホスト宅に朝迎えに行き、学校に同行します。

担当の先生をご紹介します。科目決定、制服購入、教科書購入など開始準備についてもアシスト致します。

■ カウンセリング(生活・学業)

ホスト、学校で困ったことや悩みがある時には、電話、もしくはオフィスにてカウンセリングを行います。

緊急の際には、カウンセラーがホスト宅に伺うこともあります。

■ 学校での父兄面談等への出席

学校のスタッフと、生徒との三者面談に後見人(ガーディアン)として出席致します。

■ ホストファミリー、及び学校との相互連絡

参加生が安全で充実した留学生活が送れるよう、ホストファミリーや学校と連絡を取り合い、何か問題がある際には解決のためにサポート致します。

■ 医療相談・支援

随時、心身の健康面についての相談に応じながら、必要に応じて専門医や病院を紹介し、適切な医療が受けられるよう支援致します。

■ プリペイド携帯の無料レンタル

希望者にはプリペイド携帯端末をレンタルします。(通話料は実費となります。)

■ 24時間緊急電話サポート

日本人カウンセラーが24時間対応しています。到着時にオフィス番号、スタッフ携帯番号をお渡し致します。

■ 定期報告書

半年に一度(1-2学期と3-4学期)学校より参加生の成績について報告を受けます。

成績表と生活状況をまとめたレポートを保護者様に送付致します。

■ 保護者様対象電話・Eメールでのご相談

現地カウンセラー、または日本のJAAC入学事務局では、随時、保護者様からのご質問やご相談にお応え致します。

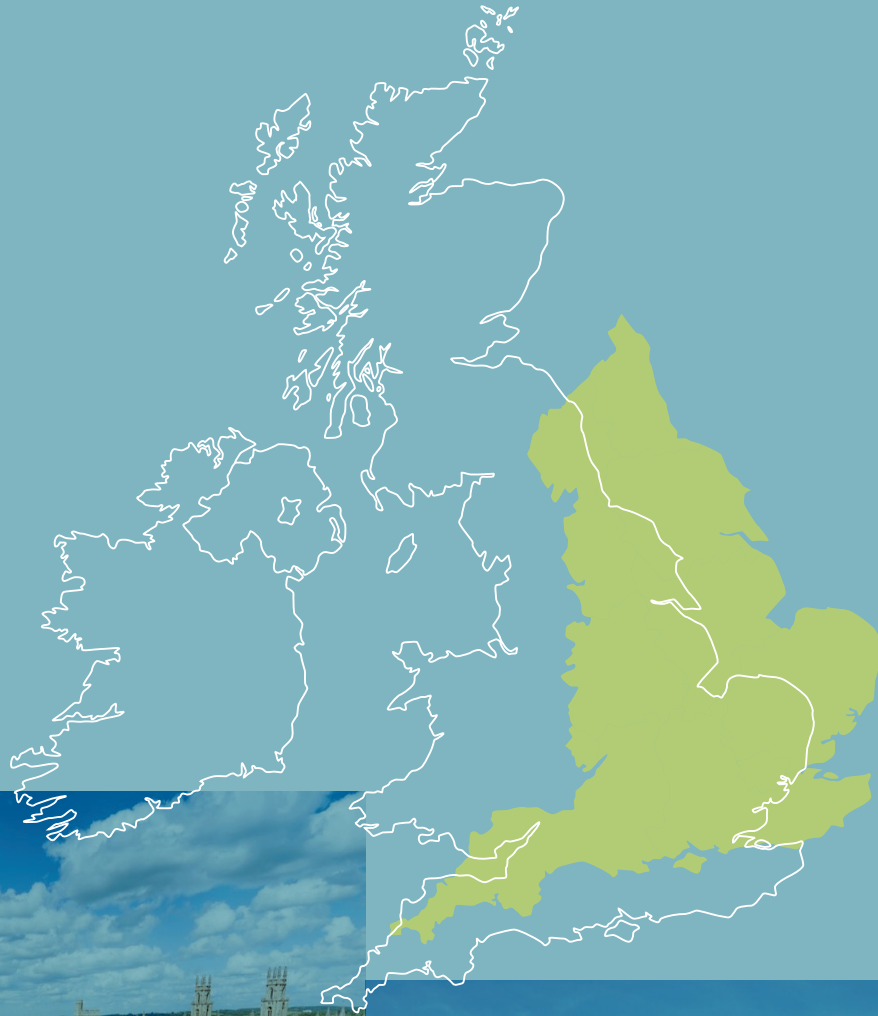
イギリス留学

UNITED KINGDOM



イングランド地域 公立・私立高校

1年間プログラム・卒業プログラム/出発 4月・9月



イギリスについて

イギリスは歴史にあふれた国であり、ストーンヘンジ(先史時代の建造物)や数多くの中世の居城、ウエールズ地域に数多く残る聖堂、イギリスのどこの町にもルネッサンスやゴシック様式の素晴らしい建造物を目にする事が出来ます。また、同時にロンドンなど、大都市の近未来的な建造物、最先端の音楽やアートなど、ヨーロッパの現代文化をリードする、魅力あふれるモダンな国でもあります。

イギリスは中等教育・高等教育レベルにおいて、様々な学位があり、職業・専門資格制度も充実しています。また、格差の少ない良質の教育を提供していることでも定評があります。それぞれの教育機関は国の調査機関により定期的に厳しく教育内容の審査を受けており、高い教育水準を維持しています。

England

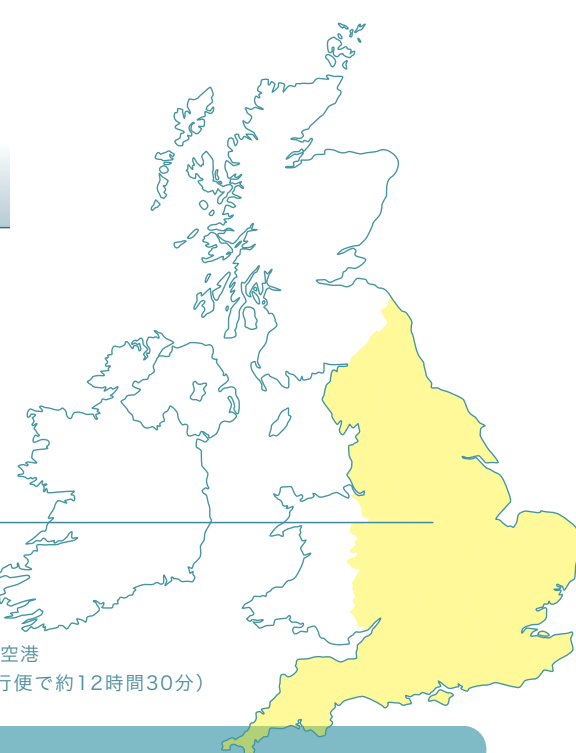
首都：ロンドン

人口：約6,000万人

面積：24万4,820km²

主要空港：ヒースロー空港

(成田空港からの直行便で約12時間30分)



留学制度実施校のある地域について

イギリス公立・私立高校留学制度のホスト校はロンドン郊外、もしくは隣接するサリー州やイースト・サセックス州・ウエストサセックス州に位置しています。ロンドンから交通の便も良く、JAACが提携するロンドン市内の現地高校留学支援機関の現地カウンセラーが緊急時に速やかに対応出来る立地条件です。



イギリスの教育制度について

イギリスの教育制度は公立校(State School)と私立校(Independent School)の2つに分かれていますが、公立校と私立校とは教育機関の名称や履修機関に違いがある事、また共に多彩なコース・選択肢に分かれている為、とても複雑です。

公立校

一般的に5歳から11歳までが初等教育で、Primary Schoolとよばれ、11歳から16歳までの中等教育機関はSecondary Schoolとよばれています。中等教育機関(Secondary School)は入学が選抜制のグラマースクール(Grammar School)と無試験で入学できるコンプリヘンシブスクール(Comprehensive School)に分かれています。

グラマースクールは入学難易度の高い進学校と言えますが、一部の地域を除き公立高校はすべてコンプリヘンシブスクールのシステムに移行しています。16歳までが義務教育で、その後大学進学を目指す生徒はSixth Formと呼ばれる上級過程で2年間学びます。Sixth Formは科目ごとにかなり高度な専門的知識を学びます。

私立校

私立校は授業料や保護者からの寄付金により独立運営されています。イギリス国内に約2,400校の私立学校がありますが、通っている生徒は国内の生徒全体の10%に過ぎません。私立学校の中で世界的に有名な学校がパブリックスクール(Public School)と呼ばれる学校郡で、エリート養成校として高い教育実績を誇っています。中でもイートン校(Eaton College)1440年設立、ラグビー校(Rugby School)1567年設立などが世界的に有名です。パブリックスクールは国内に約450校、全体の5~7%の生徒が通っています。私立校の多くは寄宿制のボーディングスクール(Boarding School)です。初等教育機関は7歳までの児童が学ぶプレ・プレパトリースクールと13歳前後までが学ぶプレパトリースクールがあります。

中等教育機関はセカンダリースクールまたはシニアスクールと呼ばれています。

高校教育について

イギリスの高校は通常9月から新学期が始まり、翌年7月下旬に修了します。3学期制が一般的で、1学期は9月から12月、2学期は1月から3月、3学期は4月から7月までとなっています。それぞれの学期の半ばに1週間ほどの休暇があります。

前述の通り、公立校と私立校があり、それぞれ留学生の受入をおこなっています。しかし、公立高校への受入はビザ発給の為のルールとして高い英語力が求められます。(英語力基準IELTS5.5以上)

私立校は独自の入学試験を実施していますが、留学生受入にも積極的で、受入体制も整っています。

受入校概要

英国留学の魅力は、伝統とQueens Englishです。数百年の歴史を持ち、中世から続く英国ボーディングスクールは、高い教育とマナーで評価を受けています。イギリスの学校は、緑あふれる広大な敷地の中に校舎があり、学業、音楽、スポーツがバランスよく学べる環境です。世界中からの留学生を受け入れている学校が大変多く、ESLといった留学生のための英語補習クラスから、進路相談をするアドバイザーまでサポートがしっかりしています。

JAACイギリス高校留学制度では、私立ボーディングスクールと公立高校のプログラムを実施しています。

私立高校ボーディングスクール

イギリス国内に約2,400校の私立学校がありますが、通っている生徒は国内の生徒全体の10%に過ぎません。

私立校の多くは寄宿制のボーディングスクール(Boarding School)です。

Royal Masonic School

London郊外の緑あふれる田園地帯にあり、学校から地下鉄駅まで徒歩5分。Central Londonまでは地下鉄で40分、空港からも車で30分の便利なロケーションです。学校も広大な敷地面積を誇り、スポーツ、音楽も盛んに行われています。プライベートでレッスンが受けられ、留学生の英語レベルにあわせたESL授業が行われています。キャンパスには6つの学生寮があり、各寮にHouse Motherがいて、親代わりとしてお世話してくれます。とてもきれいで生活感あふれるHouseです。レベルの高い学校です。

- 生徒数/817人
- 留学生/50人 日本人0人
- 滞在方法/寮(寮生151人)
- 女子校(2歳から18歳までの幼稚園から高校までの一貫教育)
- 入学月(1年間プログラム・卒業プログラム)4月、9月



Box Hill School

Londonに隣接したサリー州にある学校です。電車でCentral Londonまで1時間と近くて便利です。留学生を大変歓迎しており、留学生のためのInternational Study Center (ISC)を設備、本科へ入るための準備コースを行っています。最初からイギリス人と同じクラスは心配な生徒にお薦めの学校です。準備コースで英語力、各教科に必要な知識をつけてから本科へ移動です。ISCでは、短期留学生のための1年プログラムもあります。学生寮はアットホームで、フレンドリーな学校です。学校行事も多く週末のDay Tripから、冬はヨーロッパへのスキーなど、国内、海外へのSchool Tripもたくさんあります。

- 生徒数/300人
- 留学生/150人 日本人20人
- 滞在方法/寮(寮生160人)
- 男女共学(11歳から18歳までの中学・高校)
- 入学月(1年間プログラム・卒業プログラム)4月、9月



公立高校

イギリスにはファーザー・エデュケーション・カレッジと呼ばれる中等教育と職業教育のプログラムを併設している教育機関があり、16歳(高校2年)から入学が出来ます。尚、入学時の英語力はIELTS5.5以上が基準とされています。

Brooklands College

学校のあるWeybridge町は、London南部に隣接したSurrey州にあります。モダンな校舎や設備の充実さではTopクラスで、広大な敷地には緑があふれており、贅沢な環境です。構内には、留学生のための担当オフィスがあり、IELTS(英語試験)やESL語学集中講座の手配・サポートもしています。GCSE(中学高等部)、Higher Education(大学部)があり教育レベルの高い学校です。

- 留学生/5% 日本人2名
- 滞在方法/ホームステイ
- 男女共学
- 入学月(1年間プログラム・卒業プログラム)4月、9月



Worthing College

West Sussex Worthingはイギリス南部、温暖なリゾート地として有名な Brighton、イーストボーンビーチの近くにあります。フレンドリーで生徒への進路サポート、生活指導がしっかりしている人気の大変高い学校でおおよそ1600人の生徒が在籍しています。選択教科は、スポーツ、音楽、芸術面でも充実しており、課外では、隣接したスポーツセンターでリフレッシュしたり、校内にある留学生のための担当オフィスでは、親身になってサポートしてくれます。

- 留学生/5% 日本人3名
- 滞在方法/ホームステイ
- 男女共学
- 入学月(1年間プログラム・卒業プログラム)4月、9月

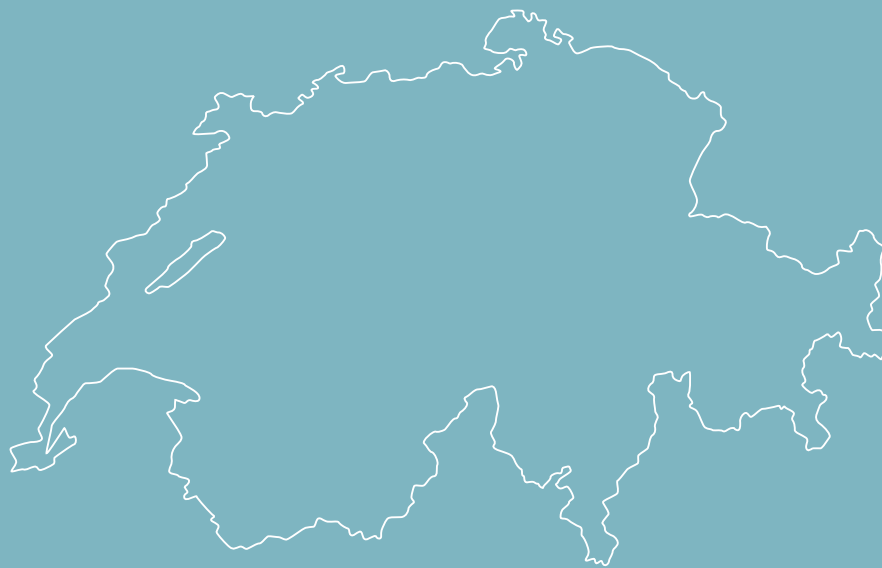


スイス留学

SWITZERLAND



1年間プログラム・卒業プログラム/出発 9月



スイス インターナショナル・ボーディングスクールについて

フランス、ドイツ、イタリア、オーストリアに国境を接するスイスは、ヨーロッパ各国とのかかわりの中で、自国の独立を保つためのたゆまぬ努力と工夫の歴史を持っています。19世紀末、ジュネーブ湖のほとりに建てられた最初の私立学校も、創立当初からスイス人のみならず、ヨーロッパ各国の子弟に門戸を広げました。

以来、スイスの私立学校はヨーロッパ各国はもちろん、ヨーロッパ人の移住先である新大陸やアジアの植民地で成功を収めた人達の子弟が集う学校としてその名を知られるようになりました。おしなべてこれらの学校は、成功者の後継者として恥じることのない人格形成、同時に世界の一流大学への進学に備える優れたアカデミックプログラムの提供を校是に掲げ、互いに切磋琢磨して、世界に並ぶものがない特別な私立学校、世界30~60カ国の子供達が学ぶ真のインターナショナル・ボーディングスクールとしての地位と伝統を築き上げてきました。

教育内容について

現在、スイスインターナショナル・ボーディングスクールの名にふさわしいと自他共に認める11校は、Swiss Learning(スイスラーニング)という連盟を組織して、世界的規模で学生募集や世界各国の同窓会活動にあたっています。これら加盟校では通常、8歳から16歳までの留学生を受け入れ、日本の高校卒業にあたる12年生(プログラムによっては13年生)までの教育を提供しています。卒業時には、英国中等教育修了統一試験(IGCSE)、アドバンス・プレースメント(AP)、インターナショナルバカロレア(IB)などの資格試験に合格し、世界の名門大学へと進学するのが一般的です。いずれの学校も特定の国籍の生徒が全体の15%を超えないように配慮されているために、キャンパスでは多様な文化を理解しつつ、グローバルコミュニティーの中で生きる力を養うことができます。卓越した指導陣のガイダンスのもと、共に暮らし学ぶ経験を通して培われた友情は、一生の宝物となるに違いありません。このほか各校では、学校の夏休み期間を利用して、インターナショナルサマープログラムを実施しています。本格的な留学の前に、あるいは子供にスイスのインターナショナルスクールの教育経験を積ませたいと願う世界の父母たちの絶大なる支持を得ています。

JAACは、Swiss Learning加盟校の実施するすべての教育プログラムの情報提供と入学手続きを行う他、希望者には入学準備教育や留学中の保護者サポート業務を提供しています。



学校紹介 スイスラーニング加盟校

レザン・アメリカン・スクール

創立1960年。アルペンのスキーリゾートにキャンパスを置くアメリカンスクール。卓越した教育を実施する高校として世界中で高い評価を受けている名門高校。ハーバード大、プリンストン大、スタンフォード大学などの進学実績がある。国連本部やその他多くの国際機関の拠点があるジュネーブから車で約1時間半、アルプスののどかな街に位置している。アメリカ、ヨーロッパ諸国、ロシア、アフリカ諸国、中近東、アジア諸国など世界50カ国以上の国々からの生徒で構成されている。



- 私立
- 入学時期 9月
1年間プログラム
卒業プログラム
- 滞在方法/学生寮

- Institute Le Rosey
(アンステイテュル・ロゼ)
- Brillantmont International School
(ブリヤモン・インターナショナルスクール)
- Institute auf dem Rosenberg
(インステイテュート・アウフ・テム・ローゼンベルグ)
- College Champittet
(コレージュ・シャンピテ)
- Lyceum Alpinum Zuoz
(リツェウム・アルピヌム・ツォツ)
- College Beau Soleil
(コレージュ・ボー・ソレイユ)
- Institut Montana Zugerberg
(インステイテュート・モンタナ・ツェルベルグ)
- Aiglon College
(エイグロン・カレッジ)
- TASIS
(タシス・アメリカン・スクール)
- College du Lemman
(コレージュ・デュ・レマン)
- Leysin American School
(レザン・アメリカン・スクール)



[本部]
〒430-0933 静岡県浜松市中区鍛冶町 140Cビル 10F
[東京オフィス]
〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 3 丁目 2-4 共同ビル(日銀前) 3F
MAIL:admission@jaac.co.jp

お問い合わせはこちらへ

Free Dial : 0120-525-626

JAAC各種留学プログラムは
www.jaac.co.jp



JAAC留学制度 現地指導・支援サポートオフィス

| | |
|------------------|---|
| アメリカ/ミズーリオフィス | サウスイーストミズーリ州立大学内 One University Plaza MS2000, Cape Girardeau, MO63701-4799 |
| アメリカ/カリフォルニアオフィス | 2276 Meyer street, Cosat Mesa, CA 92627 |
| アメリカ/ボストンオフィス | 50 Congress Street, Suite 730 Boston, MA 02109 |
| カナダオフィス | 05-2006 Troon Court Victoria BC V9B 6T4 |
| オーストラリアオフィス | Shoji Australia Office 2, 272 Stirling Hwy, Claremont WA 601 |
| ニュージーランドオフィス | EduKIWI 1/29 Acheron Dr, Riccarton, Christchurch 8041 |

JAOS 一般社団法人
海外留学協議会
Japan Association of Overseas Studies

JAAC日米学術センターは、JAOS海外留学協議会の正会員です。

「JAOS海外留学協議会」日本国内の留学団体が、留学事業の健全な発展のために組織している一般社団法人。留学事業者向けのガイドラインの制定、各国大使館等との協力・連携、留学カウンセラーの教育など、留学業界全体の質の向上に積極的に取り組んでいます。